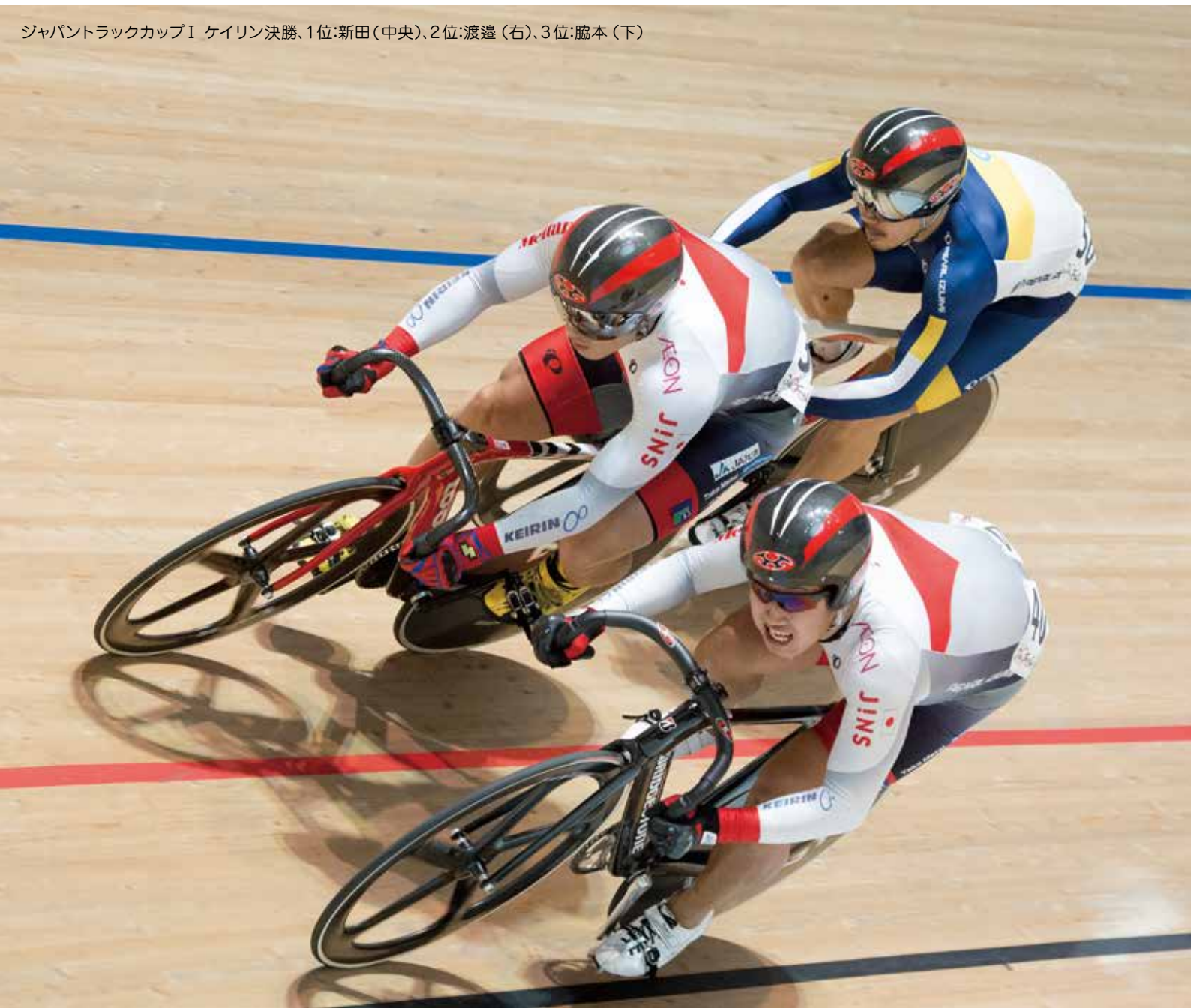


ジャパントラックカップI ケイリン決勝、1位:新田(中央)、2位:渡邊(右)、3位:脇本(下)



ジャパントラックカップ.....2  
日本新記録.....5



2014年トラック世界選手権大会.....6  
2013MTBポイントランキング.....8  
競技規則集2014年改訂事項一覧表.....9



2014年UCIシクロクロス世界選手権大会.....25  
各大会日本代表選手団.....26  
競技大会結果.....27  
連盟の動き.....28  
事務局変更のお知らせ.....28  
2013年 全日本選手権トピックス.....29-32



この広報誌は、競輪の補助金を受けて作成しました。  
<http://ringring-keirin.jp>

無限の夢へ、走りだそう。 RINGIRING! プロジェクト 競輪の補助事業

地方自治体が開催する競輪の売上金の一部は、モノづくり、スポーツ、地域社会への貢献など、さまざまな分野の事業に役立てられています。

くわしくはウェブで RINGIRING! (競輪)

# Japan Track Cup



JTC II男子エリートのスプリント決勝、1位中川(左)と2位新田



JTC I女子ジュニアケイリン決勝、先頭が1位の鈴木





JTC I男子ジュニアスクラッチ中央が優勝の松本



JTC I女子エリートポイントレース



JTC I男子エリートポイントレース、先頭は3位の窪木

1月24日から26日、静岡県伊豆市にある日本サイクルスポーツセンター内の伊豆ベロドロームにおいて、JKA主催のジャパントラックカップが開催された。この大会は世界選手権参加資格の獲得とその確保のために重要な位置づけの大会であり、多くのポイント付与のため金曜日をJTC I、土・日曜日をJTC IIと2大会に分けての開催となった。

I II大会とも、エリート・ジュニアの男女計4種別で、エリートはそれぞれ3種目、ジュニアはそれぞれ2種目が設定された。

ジャパントラックカップIでは、男女エリートのスプリント・ケイリン・ポイントレース、男子ジュニアのスクラッチ・ケイリン、女子ジュニアのポイントレース・ケイリンが行われた。参加選手は男子エリート8ヶ国42名、女子エリート5ヶ国17名、男子ジュニア4ヶ国22名、女子ジュニア3ヶ国7名の88名。

最初の決勝種目、男子ジュニアスクラッチでは日本勢が上位を独占、ゴールスプリントを制した松本憲斗（ルーテル学院高校）が金メダルを獲得した。

次の決勝種目、女子エリートポイントレースではホンコンに1・2位を占められ、日本勢では中村妃智（JPN）が3位に入った。

女子ジュニアケイリンはエントリー7名のため1発決勝で行われ、見事鈴木奈央（JPN）が優勝、この後のポイントレースでも優勝した。

男子エリートケイリン決勝は2回戦を勝ち上がった6名で行われ、新田祐大（JPN）が優勝、2位渡邊、3位脇本とメダルを独占した。

女子エリートのスプリント決勝は、予選タイム上位2名のエリクソン（USA）と小林優香（JPN）の対決となり、2本先取したエリクソンの優勝となった。

男子エリートではこの日唯一の中・長距離のポイントレース、多くの周回アップを稼いだホンコン勢が1・2位を独占、日本勢では窪木一茂の3位が最上位であった。

男子ジュニアのケイリン決勝ではマレーシアのモハド・ソニスが優勝、日本勢のメダルは獲得できなかった。

女子エリートケイリン決勝では、エリクソンと小林、中川、石井寛子、前田、そしてモハド・ウミ・ハママ（MAS）の対決となったが、見事スプリントの雪辱を果たして小林が優勝を果たした。



JTC II男子エリートオムニウム1、中央が3位の橋本



JTC II女子エリートケイリン、先頭が勝者の小林



JTC II女子ジュニアスクラッチ、先頭が1位の鈴木



JTC II女子エリートスプリント決勝、1位エリクソン(下)と2位石井貴子

JTC I 最終レース、男子エリートスプリント決勝は、同じCCTで予選1位中川と2位河端の対決だったが、河端が見事2本先取して金メダルを勝ち取った。そしてチーム対抗でも2位のホンコンに大きく差をつけ、日本ナショナルチームが1つ目のカップを獲得、タイトなスケジュールを無事終了した。

翌25日午前中にエキシビションとして、男子ジュニアのチームパーシュートと、男女ジュニアのチームスプリントが行われた。チームパーシュートは、「JCFジュニア」対「高体連」の対決、阿部、孫崎、安田、松本のJCFジュニアが4分28秒347で勝利した。

続く女子チームスプリントはJCFジュニア強化AチームとBチームの対決、大久保、鈴木のアチームが37秒858で勝利、坂本、田村は40秒666であったが、女子ジュニアの250mバンクでの記録が今まで無かったため、両チームとも日本新記録となった。男子チームスプリントはチームパーシュートと同様「JCFジュニア」対「高体連」の対決、こちらも布居、築田、野上のJCFジュニアが49秒681で勝利した。

エキシビションを終え12時よりジャパントラックカップⅡが開始された。JTC IIではIの種目中、男女エリートのポイントレースがオムニウムにかわり、ジュニアでは男女の種目が入り替わって行われた。参加選手もJTC Iから

多少変更があり、男子エリート8ヶ国40名、女子エリート5ヶ国18名、男子ジュニア4ヶ国23名、女子ジュニア3ヶ国7名の88名。

JTC Iにはなかったオムニウム、この日は男女とも6種目中3種目が行われた。女子エリートではディアオ・チャオジュアン(HKG)がフライングラップ1位、ポイントレース2位、エリミネーション2位の5pで単独首位、日本勢では中村妃智が6位、3位、3位の12pで4位につける。男子エリートでは、ピアー・オリヴィエ(SUI)とチェン・キン・ロ(HKG)が同点の8pだがフライングラップのタイム上位のピアーが首位、窪木が14pで4位、橋本が14pで5位につける。

男子ジュニアケイリンは1回戦が行われ、日本勢では築田と野上が明日の決勝に進む。この日の決勝種目は男女エリートのケイリン。女子の決勝進出者はJTC Iの決勝メンバー中、モハマト・ウミ・ハミマが加瀬に替わった6名で、エリクソン対日本人5名の対決となった。ここでも小林が見事優勝、石井寛子が2位、エリクソンは3位となった。男子決勝進出者はなんと全員日本人となり、JTC Iに続いて新田が優勝を勝ち取りJTC IIの初日を終了した。

1月26日最終日、最初の決勝種目女子ジュニアケイリンもIに続いて鈴木奈央が優勝、スクラッチにも勝利し

てJTC II通して4冠を獲得した。

初日に1回戦が行われた男子ジュニアケイリン決勝はIに続いてモハマト・ゾニスが優勝した。男子ジュニアポイントレースは阿部将大とレン(HKG)が周回アップをする中、4ポイント差で阿部が見事優勝した。

女子エリートスプリントはJTC Iに続いてエリクソンが優勝、石井貴子が2位、前田佳代乃が3位に入った。男子エリートスプリントではJTC Iの雪辱を果たして中川が優勝した。

女子エリートオムニウムでは初日暫定1位だったディアオ・チャオジュアンが個人追抜1位、スクラッチ2位、タイムトライアル2位の合計10pで見事優勝した。日本勢ではスクラッチで1位になった斉藤が25pで4位に入った。また男子エリートオムニウムでは初日暫定1位のピアー・オリヴィエが個人追抜1位、スクラッチ6位、タイムトライアル2位の合計17pで、チェン・キン・ロに3p差をつけて優勝した。日本勢では、橋本英也(JPN)が個人追抜2位、スクラッチ1位、タイムトライアル3位と猛チャージした結果、21pで3位となったが、2位チェン・キン・ロとの差は何と1pであった。

チーム対抗ではJTC I同様、2位のホンコンに大きく差をつけ、JPNが2つ目のカップを獲得し、全日程を終了した。

**【競技結果】**

シヤパントラックカップ I  
(2014/1/24 静岡・伊豆ベロドローム)

**Men Elite Sprint**

- 1 河端 朋之 JPN CCT
- 2 中川誠一郎 JPN CCT
- 3 モハド・ユヌス・ムハマルド・イドリス MAS

**Men Elite Keirin**

- 1 新田 祐大 JPN JPN
- 2 渡邊 一成 JPN CCT
- 3 脇本 雄太 JPN JPN

**Men Elite Points Race (30km)**

- |   |            |         |      |
|---|------------|---------|------|
| 1 | レン・チュン・ウィン | HKG     | 110p |
| 2 | チェン・キン・ロ   | HKG     | 74p  |
| 3 | 窪木 一茂      | JPN JPN | 61p  |

**Women Elite Sprint**

- 1 エリクソン・ミッシェー USA
- 2 小林 優香 JPN JPN
- 3 モハド・ウミ・ハミマ MAS

**Women Elite Keirin**

- 1 小林 優香 JPN JPN
- 2 エリクソン・ミッシェー USA USA
- 3 中川 諒子 JPN JPCA

**Women Elite Points Race (20km)**

- |   |              |         |     |
|---|--------------|---------|-----|
| 1 | ディアオ・チヤオジュアン | HKG     | 37p |
| 2 | パン・ヤオ        | HKG     | 37p |
| 3 | 中村 妃智        | JPN JPN | 30p |

**Men Junior Scratch Race (10km)**

- 1 松本 憲斗 JPN LGHS
- 2 安田 開 JPN JPN
- 3 孫崎 大樹 JPN JPN

**Men Junior Keirin**

- 1 モハド・ユヌス・ムハマルド・イドリス MAS
- 2 レン・カウ HKG
- 3 ジョン・ジヒ KOR KSCF

**Women Junior Points Race (10km)**

- |   |       |          |     |
|---|-------|----------|-----|
| 1 | 鈴木 奈央 | JPN JPN  | 11p |
| 2 | 大久保花梨 | JPN YSHS | 10p |
| 3 | 八木 梓  | JPN JPN  | 9p  |

**Women Junior Keirin**

- 1 鈴木 奈央 JPN JPN
- 2 モハド・アドナ・ファリク・シヤティ MAS
- 3 八木 梓 JPN JPN

**Team Standing**

- |   |         |     |
|---|---------|-----|
| 1 | 日本      | 89p |
| 2 | ホンコンチャイ | 44p |
| 3 | マレーシア   | 35p |

シヤパントラックカップ II  
(2014/1/25-26 静岡・伊豆ベロドローム)

**Men Elite Sprint**

- 1 中川誠一郎 JPN CCT
- 2 新田 祐大 JPN JPN
- 3 渡邊 一成 JPN CCT

**Men Elite Keirin**

- 1 新田 祐大 JPN JPN
- 2 坂本 貴史 JPN JPN
- 3 渡邊 一成 JPN CCT

**Men Elite Omnium**

- |   |           |         |     |
|---|-----------|---------|-----|
| 1 | ピアー・オググアイ | SUI     | 17p |
| 2 | チェン・キン・ロ  | HKG     | 20p |
| 3 | 橋本 英也     | JPN JPN | 21p |

**Women Elite Sprint**

- 1 エリクソン・ミッシェー USA
- 2 石井 貴子 JPN JPN
- 3 前田佳代乃 JPN CCT

**Women Elite Keirin**

- 1 小林 優香 JPN JPN
- 2 石井 寛子 JPN CCT
- 3 エリクソン・ミッシェー USA USA

**Women Elite Omnium**

- |   |              |     |     |
|---|--------------|-----|-----|
| 1 | ディアオ・チヤオジュアン | HKG | 10p |
| 2 | ソム・ネット・ジュファ  | MAS | 14p |
| 3 | パン・ヤオ        | HKG | 23p |

**Men Junior Points Race (30km)**

- |   |       |         |     |
|---|-------|---------|-----|
| 1 | 阿部 将大 | JPN JPN | 30p |
| 2 | レン・カウ | HKG     | 26p |
| 3 | 安田 開  | JPN JPN | 13p |

**Men Junior Keirin**

- 1 モハド・ユヌス・ムハマルド・イドリス MAS
- 2 レン・カウ HKG
- 3 ジョン・ジヒ KOR

**Women Junior Scratch (7.5km)**

- 1 鈴木 奈央 JPN JPN
- 2 モハド・アドナ・ファリク・シヤティ MAS
- 3 ファン・ユッキ HKG

**Women Junior Keirin**

- 1 鈴木 奈央 JPN JPN
- 2 モハド・アドナ・ファリク・シヤティ MAS
- 3 ファン・ユッキ HKG

**Team Standing**

- |   |         |     |
|---|---------|-----|
| 1 | 日本      | 96p |
| 2 | ホンコンチャイ | 49p |
| 3 | マレーシア   | 36p |



**日本新記録** Japan New Record

■ 女子チーム・スプリント ・250m×2

女子ジュニア 37" 858 JCFジュニア強化A (大久保花梨、鈴木奈央) 2014/01/25 静岡・伊豆ベロドローム

女子ジュニア 40" 666 JCFジュニア強化B (坂本咲、田村ひろみ) 2014/01/25 静岡・伊豆ベロドローム

# 2014年トラック世界選手権大会

## 男子チームスプリント 11位に終わる。



今回、世界選手権が行われるコロンビア・カリは、日本との時差は-14時間、気温は3月の平均で29℃(最高)~19℃(最低)、そして競技が行われるトラックは一般的な室内型のトラックとは違い、250mトラックに屋根を付けた形状のため屋根とトラックの間に広い隙間があり、常時、風がトラック内に入り込み、天候によっては雨までも入り込んでくる特殊なバンクだ。またコロンビアでの自転車競技の人気は相当で競技場の外ではすぐに多くの子供に囲まれて写真を撮られる。コロンビアでは自転車が日本のサッカー、野球の様に人気があると聞いた。いつか日本でもこうした光景を見られることを目標とした。



大会初日は午後のセッション前に華やかなオープニングセレモニーが行われコロンビアのこの大会にかける意気込みが感じられた。



そうした中、男女のチームスプリントが行われ、初出場となる石井・小林の競輪学校生コンビに大きな期待と注目が寄せられた。

一走の石井はスタートダッシュでタイミングを合わせることに成功したが、二走の小林は、スタートに戸惑い前半で大きく車間が開いた。後半懸命に盛り返すも35秒584の10位。小林はSitting状態に入ってから最高速とその持続力には目を見張るものを持つだけにスタートからの加速力向上が今後の課題となる。両選手とも今後の日本女子短距離界を背負う逸材だけに、今回、日本と世界との差を肌で感じる事が出来たことは大きな収穫と期待したい。

男子は時間と共に強まる風の影響を受けタイムを伸ばすことが出来ずに11位となった。女子はドイツが優勝、男子はニュージーランドが世界記録を持つドイツを押さえ初の世界チャンピオンに輝いた。チームスプリントで、ドイツ、英国、フランス、オーストラリアの4強以外の国が世界チャンピオンになるのは初めてで、この優勝には、これら強豪4カ国のコーチ陣にも衝撃が走ったようだ。

大会2日目は男子ケイリンと女子500mTTに日本選手が出走。男子ケイリン予選ではGlaetzer(AUS)が先行、脇本は飛びつく形となったが最終1コーナーで接触し転倒。渡邊は前受けから一旦引いてチャンスをうかがうもPuerta(COL)が後ろのもつれを尻目に番手捲りで快勝し、脇本・渡邊



両選手共に敗者復活戦に回った。脇本・渡邊両選手が同乗した敗者復活戦では、後方から叩いて先行体制に入った渡邊の動きに、脇本も反応し続こうとしたが、落車の影響から上手く対応できず中段で浮く形になる。渡邊に飛びついていたPerkins(AUS)とまくり上げたEilers(GER)との捲り合戦になり、僅差でEilers(GER)が制し両者が準決勝へ。決勝では3番手キープから残り1周半で先頭に立ったPervis(FRA)がマークする地元Puerta(COL)を振り切って予選から3連勝で世界チャンピオンに輝き好調ぶりを見せつけた。

女子500mTTは前田が35秒499で15位。ドイツのWelte(GER)が33秒451でチームスプリントに続いて優勝を飾った。

大会3日目は女子スプリント、男子オムニウム、男子1kmTTに日本選手が出場、スプリントでは前田が11秒330、予選19位で通過も1/16FinalでVanish(GBR)に敗れる。女子スプリントはVogel(GER)が力の違いを見せつけて初の世界チャンピオンに。男子1kmTTは中川選手が1分03秒110で15位。この種目も好調Pervis(FRA)が59秒385で優勝。男子オムニウムでは橋本がFlyingLap13位、ポイントレース4位、エリミネーション4位となり、3種目終えた時点で総合5位。特にポイントレースでは14周目から飛び出し20周目にはLapに成功し得意のゲーム系レースで存在感を示した。

大会4日目は日本選手は男子スプリント、男女のオムニウムに出場し、スプリントでは中川10秒161の22位、河端は10秒302で27位。予選通過



した中川は1/16Finalで予選3位のForstemann(GER)と対戦。巧みに先行するもゴール前で追い込まれて敗退。この種目もPervis(FRA)が一歩も落とさずに優勝。ケイリン、1kmTT、スプリントの三冠に輝いた。

男子オムニウムでは、昨日活躍した橋本に期待が掛かったが個人追抜で15位、スクラッチでは最終周で落車、その影響もあり1kmTTでは16位で総合12位となった。塚越はFlyingLap11位、ポイントレース17位エリミネーション14位で出走初日を終えた。

大会最終日は、女子ケイリン、女子オムニウムに日本選手が出場。ケイリンでは前田が出場も予選・敗者復活戦を通じてレースの流れを上手く捉えることが出来ずに終わった。

女子ケイリンも優勝はVogel(GER)の手に。オムニウムでは塚越が個人追抜、スクラッチ共に16位、500mTTでは37秒136で14位となり総合17位で日本勢の全ての競技が終了した。

今回、日本のピットの後ろにドイツチーム、横にはイギリスチームが陣取ったことでそれぞれの取り組みを垣間見ることが出来た。写真にあるようにドイツチームはコーチングスタッフとは別に解析専門のスタッフと機材を配置。



レース直後に監督、コーチ、選手がこれらのデータを見ながら議論を繰り返していた。またイギリスチームはサプリメントを多種配置し栄養専門スタッフが種目の特性に合わせてサプリメントの摂取時間・種類などを調整し選手に渡していた。



やはり強豪国では試合当日のサポー

トだけについてもこうした医科学的対応が高精度で行われており、リオ、東京オリンピックへ向けて日本においても医科学的サポートの充実には欠かせぬ課題として取り組んでいかねばならない。こうした強豪国の取り組みをみても、以前より提案している戦略的強化プランが実行され、組織的な取り組みが機能することが不可避であることが改めて浮き彫りとなった大会であった。

(松本 整)

### 【競技結果】

#### 2014年トラック世界選手権大会 (2014/2/26-3/2 コロンビア・カリ)

##### 男子スプリント

1	PERVIS Francois	FRA	
2	BOTTICHER Stefan	GER	
3	DMITRIEV Denis	RUS	
22	中川誠一郎	JPCA JPCU 熊本	1/16F 敗退
27	河端 朋之	JPCA JPCU 岡山	予選敗退

##### 男子1kmタイムトライアル

1	PERVIS Francois	FRA	59.385
2	EILERS Joachim	GER	59.984
3	VAN VELTHOOVEN Simon	NZL	1:00.518
15	中川誠一郎	JPCA JPCU 熊本	1:03.110

##### 男子ケイリン

1	PERVIS Francois	FRA	
2	PUERTA ZAPATA Fabian Hernando	COL	
3	BUCHLI Matthijs	NED	
17	渡邊 一成	JPCA JPCU 福島	
21	脇本 雄太	JPCA JPCU 福井	

##### 男子ムロム

1	BOUDAT Thomas	FRA	24p
---	---------------	-----	-----

2	VELDT Tim	NED	28p
3	MANAKOV Viktor	RUS	32p
12	橋本 英也	岐阜 鹿屋体育大学	68p (FL:13,PR:4,EL:4,IP:15,SH:16,TT:16)

##### 男子チームスプリント

1	ニュージーランド	42.840
2	ドイツ	42.885
3	フランス	43.285
11	日本 河端・中川・渡邊	44.938

##### 女子500mタイムトライアル

1	WELTE Miriam	GER	33.451
2	MEARES Anna	AUS	33.548
3	VOINOVA Anastasiia	RUS	33.789
15	前田佳代乃	京都	35.499

##### 女子スプリント

1	VOGEL Kristina	GER	
2	ZHONG Tianshi	CHN	
3	LIN Junhong	CHN	
19	前田佳代乃	京都	1/16F 敗退

##### 女子ケイリン

1	VOGEL Kristina	GER	
2	MEARES Anna	AUS	
3	JAMES Rebecca Angharad	GBR	
17	前田佳代乃	京都	1回戦敗退

##### 女子ムロム

1	HAMMER Sarah	USA	14p
2	TROTT Laura	GBR	20p
3	EDMONDSON Annette	AUS	24p
17	塚越さくら	鹿児島 鹿屋体育大学	88p (FL:11,PR:17,EL:14,IP:16,SH:16,TT:14)

##### 女子チームスプリント

1	ドイツ	32.440
2	中国	33.239
3	イギリス	33.032
10	日本 石井・小林	35.584

### 2014年トラック世界選手権大会 日本代表選手団

大会名 2014年トラック世界選手権大会

開催場所 コロンビア・カリ

開催期間 2014年2月26日～3月2日

派遣期間 2014年2月21日～3月5日

代表選手団

監督 松本 整 (ナショナルチーム総監督)

コーチ 坂本 勉 (ナショナルコーチ)

飯島 誠 (強化コーチ)

スタッフ 村田 正洋 (アシスタントナショナルコーチ)

沖 美穂 (強化アドバイザー)

メカニック 森 昭雄 (強化支援スタッフ)

マッサージ 柳 浩史 (強化支援スタッフ)

中山 真臣 (強化支援スタッフ)

ドクター 小林 裕幸 (チームドクター)

選手 中川誠一郎 (JPCA・JPCU 熊本)

渡邊 一成 (JPCA・JPCU 福島)

河端 朋之 (JPCA・JPCU 岡山)

脇本 雄太 (JPCA・JPCU 福井)

橋本 英也 (岐阜・鹿屋体育大学)

前田佳代乃 (京都)

石井 貴子 (静岡・日本競輪学校)

小林 優香 (静岡・日本競輪学校)

塚越さくら (鹿児島・鹿屋体育大学)

# 2013 マウンテンバイク ナショナル ポイントランキング

## Cross-Country Elite Men

1	齊藤 亮	Master	長野	700
2	小野寺 健	Elite	北海道	573
3	門田 基志	Master	愛媛	565
4	中原 義貴	U23	大阪	515
5	合田 正之	Master	埼玉	463
6	前田 公平	U23	東京	441
7	松本 駿	Master	長野	423
8	大淵 宏紀	Master	大阪	411
9	鈴木 智之	Master	神奈川	374
10	代田 和明	M40	千葉	322
11	山田 主	Elite	長野	318
12	神谷 知明	M40	東京	301
13	小林 聖	M40	長野	299
14	山田 誉史輝	Junior	長野	295
15	井本 京吾	Elite	熊野	291
16	江下 健太郎	Master	福岡	287
17	池田 祐樹	Master	東京	278
18	西田 尚平	U23	北海道	271
19	松尾 純	U23	新潟	270
20	佐藤 誠示	Master	埼玉	266
21	畦地 利哉	M40	岐阜	258
22	國井 敏夫	Master	千葉	256
23	島田 真琴	Elite	東京	254
24	北島 篤志	Master	東京	253
25	千田 尚孝	Master	愛知	247
26	小笠原 崇裕	Master	東京	227
27	藤原 友秀	Master	兵庫	222
28	萬谷 和也	Master	山口	210
29	園部 来夢	Elite	東京	203
30	竹本 颯太	U23	愛媛	192
31	國吉 正紀	M40	石川	190
32	細井 陽介	Master	広島	181
33	大西 健一郎	Master	京都	180
34	恩田 祐一	Master	新潟	175
35	山西 健司	Master	栃木	175
36	山本 朋貴	Master	滋賀	175
37	橋田 淳一郎	M40	東京	168
38	久保 伸次	M40	京都	167
39	藤川 正人	Master	滋賀	163
40	水谷 祐太	Elite	広島	163
41	堺 章吾	Master	長野	162
42	澤木 紀雄	Elite	東京	160
43	新谷 直也	Master	東京	159
44	伊澤 優大	Elite	滋賀	158
45	平野 星矢	Elite	長野	157
46	澤田 泰征	M40	東京	156
47	蜂須賀 智也	Master	愛知	154
48	古崎 潤	Master	大阪	153
49	大橋 優	M40	奈良	145
50	大橋 尚哉	M40	千葉	144
51	長谷川 大成	Junior	愛知	143
52	吉元 健太郎	Master	東京	143
53	中間 森太郎	Master	埼玉	141
54	藤本 信和	M40	長野	136
55	平井 啓資	Master	東京	134
56	江崎 孝徳	Master	滋賀	134
57	奥田 晃久	Master	愛知	132
58	有持 真人	M50	神奈川	131

59	吉澤 博	M40	京都	128
60	佐復 真人	Master	茨城	126
61	平賀 俊郎	Elite	愛知	118
62	武井 怜緒奈	Master	三重	117
63	鈴木 禄徳	Elite	千葉	117
64	棟保 祐介	Master	滋賀	112
65	橋本 賢毅	Master	東京	109
66	石黒 大樹	M40	山形	106
67	酒居 良和	M40	広島	105
68	榊原 龍一	Master	愛知	104
69	塩見 学	M40	東京	103
70	高橋 雅志	M40	愛媛	102
71	沢田 時	U23	滋賀	98
72	丸山 喬嗣	Master	愛知	98
73	市川 哲也	M40	広島	92
74	米山 修	M40	埼玉	91
75	横山 航太	Junior	長野	90
76	浅井 秀樹	M40	埼玉	87
77	鎌田 裕	M40	神奈川	86
78	多田 尚史	M40	東京	79
79	柏崎 裕紀	Master	群馬	76
80	鈴木 祐一	Master	東京	62
81	澤田 雄一	M40	長野	54
82	山本 兆	U23	北海道	47
83	矢吹 浩一	M40	東京	41
84	松尾 光浩	M40	東京	37
85	多田 宗弘	Master	東京	37
86	赤坂 佳紀	M40	栃木	37
87	谷本 浩志	M40	広島	35
88	西垣 内裕治	Master	東京	29
89	竹田 佳行	M40	埼玉	16
90	古谷 利行	M40	埼玉	12
91	市川 啓	Master	愛知	10

## Cross-Country Elite Women

1	相野田 静香	U23	長野	600
2	末政 実緒	Master	兵庫	575
3	広瀬 由紀	M40	神奈川	550
4	川崎 路子	Master	静岡	537
5	中込 由香里	M40	長野	505
6	小林 可奈子	M40	長野	265
7	重兼 みゆき	Elite	愛媛	227
8	埜真 賢美	Elite	岡山	217
9	岩出 愛未	U23	愛知	45

## Downhill Elite Men

1	清水 一輝	Elite	愛知	820
2	井本 はじめ	Elite	兵庫	712
3	九島 勇気	Elite	神奈川	673
4	浅野 善亮	Elite	愛知	670
5	阿藤 寛	Elite	大阪	650
6	永田 隼也	Elite	神奈川	637
7	安達 靖	Master	愛知	618
8	小山 航	Elite	長野	610
9	青木 卓也	Elite	東京	586
10	井手川 直樹	Master	広島	550
11	加藤 将来	Junior	愛知	543
12	五十嵐 優樹	Junior	長野	536
13	大島 礼治	Master	兵庫	500
14	浦上 太郎	Elite	熊本	466
15	兼子 雄一郎	Master	愛知	441
16	和田 良平	Master	大阪	439
17	大野 良平	Master	岐阜	429
18	黒沢 大介	Elite	東京	344
19	栗瀬 裕太	Master	大阪	320
20	小野 浩二	Master	静岡	308
21	武井 怜緒奈	Master	三重	296

22	野武 雄一朗	Master	兵庫	292
23	太田 匠	Master	静岡	284
24	高松 健二	Master	兵庫	282
25	渡辺 靖之	M40	大阪	275
26	荒金 知史	Master	大阪	273
27	藤田 翔也	Elite	静岡	272
28	栗野 宏一郎	Master	岐阜	272
29	望月 克彦	Master	静岡	270
30	青柳 修一郎	Elite	栃木	267
31	山田 貴之	Master	静岡	265
32	今泉 仁	Elite	東京	259
33	塚本 岳	M40	愛知	256
34	下垣 大樹	Elite	大阪	250
35	金子 匠	Junior	東京	241
36	堀田 昌希	M40	愛知	241
37	本村 貴之	M40	福岡	233
38	内藤 順仁	M40	静岡	232
39	館 正訓	M40	東京	229
40	波多野 真弘	M40	愛知	217
41	瀧野 厚志	Master	静岡	217
42	白井 了史	Master	神奈川	210
43	伊藤 康喜	M40	東京	205
44	虎井 秀将	Master	東京	196
45	倉林 快明	Elite	東京	194
46	志賀 孝治	Master	山口	191
47	向原 健司	Master	大阪	190
48	椿本 哲也	Master	兵庫	189
49	竹内 豪	Master	兵庫	184
50	新沢 武雄	Master	長野	183
51	清水 淳	Master	神奈川	170
52	湯本 大行	Elite	神奈川	164
53	牧野 将勅	Master	兵庫	162
54	九島 賛汰	Elite	神奈川	161
55	坂中 栄三	M40	富山	155
56	萩原 信之	M40	埼玉	155
57	秋吉 圭	Elite	東京	152
58	三山 孝幸	M50	石川	148
59	村井 直	Master	静岡	145
60	三宅 和之	Master	埼玉	141
61	岡田 敏彦	M40	愛知	141
62	中村 祐	Elite	大阪	130
63	Kang TaeHyeok	Elite	KOR	121
64	三輪 大輔	Master	愛知	90
65	山岸 健	M40	東京	85
66	角田 雅史	Master	岐阜	82
67	福田 佑二郎	Master	東京	77
68	三木 洋介	Elite	埼玉	36
69	齊藤 邦一	Master	東京	31
70	林 佳亮	Junior	愛知	23
71	三輪 隆文	Elite	新潟	21
72	重 由一	Master	東京	16
73	菊地 洋平	Master	静岡	15

## Downhill Elite Women

1	末政 実緒	Master	兵庫	990
2	中川 綾子	Junior	兵庫	874
3	中村 美佳	Elite	福井	791
4	中川 弘佳	M40	大阪	776
5	木下 論子	Master	奈良	709
6	九島 あかね	Junior	神奈川	613
7	牧野 瑠衣	Master	兵庫	569
8	安福 範子	Master	愛知	541
9	村田 実里	Master	山口	318
10	吉川 千香子	Master	愛知	126
11	朝日 久美子	M40	東京	20



【別表5】2014 マウンテンバイク・ポイント・ランキング・テーブル

順位	AI Categories (Number of #)	AI Categories	AI Categories-JIT	2014 マウンテンバイク・ポイント・ランキング・テーブル		
				U23	ジュニア	マスター
1	200	150	90	90	90	41
2	170	120	80	80	80	42
3	140	90	70	70	70	43
4	110	60	60	60	60	44
5	80	40	50	50	50	45
6	50	30	40	40	40	46
7	30	20	30	30	30	47
8	20	15	20	20	20	48
9	15	10	15	15	15	49
10	10	7	10	10	10	50
11	7	5	7	7	7	51
12	5	3	5	5	5	52
13	3	2	3	3	3	53
14	2	1	2	2	2	54
15	1	1	1	1	1	55
16						56
17						57
18						58
19						59
20						60
21						61
22						62
23						63
24						64
25						65
26						66
27						67
28						68
29						69
30						70
31						71
32						72
33						73
34						74
35						75
36						76
37						77
38						78
39						79
40						80
41						81
42						82
43						83
44						84
45						85
46						86
47						87
48						88
49						89
50						90
51						91
52						92
53						93
54						94
55						95
56						96
57						97
58						98
59						99
60						100

# (公財)日本自転車競技連盟 競技規則集

## 2014年改訂事項一覧表 概要説明



公益財団法人 日本自転車競技連盟

2014年版  
JCF競技規則集

(公財)日本自転車競技連盟 2014年版の競技規則集が発行されました。  
ご購入希望のお問合せは、各加盟団体へお問合せください。

←① 取り外して、切る ※ このページから内側部分を取り外して、①折り目部分で切り取り、  
↓② 山折り ②点線部分を山折りにして下さい。携帯版(A5,32p)になります。



# (公財)日本自転車競技連盟競技規則集改訂事項一覧表(案)

条項	2013年版	2014年版
公益財団法人日本自転車競技連盟定款		
第2条(事務所)	この法人は、主たる事務所を東京都港区に置く。	(事務所) この法人は、主たる事務所を東京都品川区に置く。
<b>第1章 総則</b>		
第1条(制定の規範)	この競技規則は、国際自転車競技連合(以下UCIという)の定款および諸規則を規範として制定する。これら規則に変更のあった場合には、準拠して改訂する。	(制定の規範) この競技規則は、国際自転車競技連合(以下UCIという)の定款および諸規則を規範として制定する。これら規則に変更のあった場合には、準拠して改訂する。UCI規則のうち、この競技規則に明文の規定のないものは、UCI規則を適用する。
第4条A		(競技中の定義) 競技中とは、スタート前のスタートチェック時から、競技結果が確定し、表彰等が終了するまでをいう。
<b>第5章 自転車およびロードバイク</b>		
第16条(トラック・ロードバイク)	① 自転車 ② 推進力 ③ 推進力 ④ 推進力 ⑤ 推進力 ⑥ 推進力 ⑦ 推進力 ⑧ 推進力 ⑨ 推進力 ⑩ 推進力 ⑪ 推進力 ⑫ 推進力 ⑬ 推進力 ⑭ 推進力 ⑮ 推進力 ⑯ 推進力 ⑰ 推進力 ⑱ 推進力 ⑲ 推進力 ⑳ 推進力 ㉑ 推進力 ㉒ 推進力 ㉓ 推進力 ㉔ 推進力 ㉕ 推進力 ㉖ 推進力 ㉗ 推進力 ㉘ 推進力 ㉙ 推進力 ㉚ 推進力 ㉛ 推進力 ㉜ 推進力 ㉝ 推進力 ㉞ 推進力 ㉟ 推進力 ㊱ 推進力 ㊲ 推進力 ㊳ 推進力 ㊴ 推進力 ㊵ 推進力 ㊶ 推進力 ㊷ 推進力 ㊸ 推進力 ㊹ 推進力 ㊺ 推進力 ㊻ 推進力 ㊼ 推進力 ㊽ 推進力 ㊾ 推進力 ㊿ 推進力	(トラック・ロードバイク) ① 自転車 ② 推進力 ③ 推進力 ④ 推進力 ⑤ 推進力 ⑥ 推進力 ⑦ 推進力 ⑧ 推進力 ⑨ 推進力 ⑩ 推進力 ⑪ 推進力 ⑫ 推進力 ⑬ 推進力 ⑭ 推進力 ⑮ 推進力 ⑯ 推進力 ⑰ 推進力 ⑱ 推進力 ⑲ 推進力 ⑳ 推進力 ㉑ 推進力 ㉒ 推進力 ㉓ 推進力 ㉔ 推進力 ㉕ 推進力 ㉖ 推進力 ㉗ 推進力 ㉘ 推進力 ㉙ 推進力 ㉚ 推進力 ㉛ 推進力 ㉜ 推進力 ㉝ 推進力 ㉞ 推進力 ㉟ 推進力 ㊱ 推進力 ㊲ 推進力 ㊳ 推進力 ㊴ 推進力 ㊵ 推進力 ㊶ 推進力 ㊷ 推進力 ㊸ 推進力 ㊹ 推進力 ㊺ 推進力 ㊻ 推進力 ㊼ 推進力 ㊽ 推進力 ㊾ 推進力 ㊿ 推進力

【別表4】国内ロード競技大会用ポイント・テーブル

Rank	1st-3rd	4th-6th	7th-9th	10th-12th	13th-15th	16th-18th	19th-21st	22nd-24th	25th-27th	28th-30th	31st-33rd	34th-36th	37th-39th	40th-42nd	43rd-45th
1	40	24	20	16	14	12	10	8	6	4	3	2	1	1	1
2	30	18	15	12	10	8	6	4	3	2	1	1	1	1	1
3	20	12	10	8	6	4	3	2	1	1	1	1	1	1	1
4	15	9	7	6	4	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1
5	10	6	5	4	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
6	8	5	4	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
7	6	4	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
8	4	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
9	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
10	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
11	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
13	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
14	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
15	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
16	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
17	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
18	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
19	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
20	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

ロード競技大会用ポイント・テーブル(男子エリート)

Rank	1st-3rd	4th-6th	7th-9th	10th-12th	13th-15th	16th-18th	19th-21st	22nd-24th	25th-27th	28th-30th	31st-33rd	34th-36th	37th-39th	40th-42nd	43rd-45th
1	40	24	20	16	14	12	10	8	6	4	3	2	1	1	1
2	30	18	15	12	10	8	6	4	3	2	1	1	1	1	1
3	20	12	10	8	6	4	3	2	1	1	1	1	1	1	1
4	15	9	7	6	4	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1
5	10	6	5	4	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
6	8	5	4	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
7	6	4	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
8	4	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
9	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
10	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
11	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
13	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
14	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
15	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
16	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
17	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
18	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
19	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
20	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

ロード競技大会用ポイント・テーブル(女子エリート)

Rank	1st-3rd	4th-6th	7th-9th	10th-12th	13th-15th	16th-18th	19th-21st	22nd-24th	25th-27th	28th-30th	31st-33rd	34th-36th	37th-39th	40th-42nd	43rd-45th
1	40	24	20	16	14	12	10	8	6	4	3	2	1	1	1
2	30	18	15	12	10	8	6	4	3	2	1	1	1	1	1
3	20	12	10	8	6	4	3	2	1	1	1	1	1	1	1
4	15	9	7	6	4	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1
5	10	6	5	4	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
6	8	5	4	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
7	6	4	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
8	4	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
9	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
10	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
11	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
13	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
14	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
15	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
16	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
17	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
18	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
19	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
20	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

N1, 2対象大会については別途定める

選手は各完走者に与える

付表 17：パラサイクリング標準パフォーマンス係数表

Table with 3 main sections: 50% (C3-C1), 60% (H3-H1), and 70% (T2-T1). Each section lists gender and age groups with corresponding performance coefficients.

日本自転車競技連盟ランキング制度

- 6. ロードレース
(1) 対象競技大会および大会別のポイント
(2) 順位によるポイント
(3) ポイントの集計とランキングの公表
7. マウンテンバイク(MTB)
(1) 対象大会および大会別のポイント
(2) 順位によるポイント
(3) ポイントの集計とランキングの公表

【別表2】JCFロードランキング対象国内競技大会とそのクラス

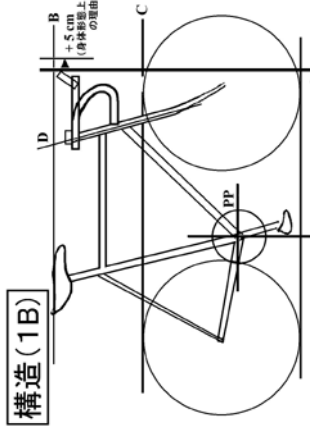
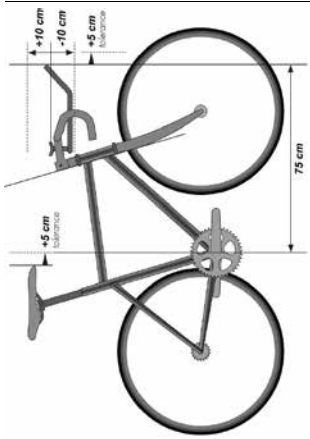
Table listing various cycling events (e.g., 全日本選手権, 全日本学生選手権) and their corresponding classes (e.g., UCI, JCF).

のときみなされる。スポークは断面寸法が 2.4mm を超えない円、扁平または楕円断面で、リムはその断面において各面の間隔が 2.5cm を超えないものとする。
この条項にかかわらず、車輪の選択と使用は第 16 条 1.(1)から(2)による。
(2)技術的詳細
a)寸法 (1)図を見よ)
b)寸法 (1)図を見よ)
※: 当条項および第16条3(2)a)②における注\*で示した距離は、身体形態上の理由で必要な場合には、サドルの先端はポトムブラケット軸を通る垂直線まで前進させることができる。身体形態上の理由とは、競技者の体格、手脚の長さに関するすべての要素を考慮に入れて解釈する。これらにより、規定より寸法の小さい自転車が必要であると考える競技者は、ライセンスロードレース時にコミセール・ハネルに申告しなければならぬ。

のときみなされる。スポークは断面寸法が 2.4mm を超えない円、扁平または楕円断面で、リムはその断面において各面の間隔が 2.5cm を超えないものとする。
この条項にかかわらず、車輪の選択と使用は第 16 条 1.(1)から(2)による。
技術的詳細
寸法 (1)図を見よ)
サドルの先端部が、ポトムブラケットの中心を通る垂直線より少なくとも5cm後方に位置しなければならぬ。 ※ この制限は、トラップ競技の短距離種目(フライング200mタイムトライアル、フライング、ラップ、スプリント、チーム・スプリント、ケイリン、500mあるいは1kmタイムトライアル)の競技者の自転車には適用しない。しかしながら、いかなる場合も、サドルの先端部はポトムブラケットを通る垂直線より前に出てはならない。
※: 当条項および第16条3(2)a)②における注\*で示した距離は、身体形態上の理由で必要な場合には、サドルの先端はポトムブラケット軸を通る垂直線まで前進させることができる。身体形態上の理由とは、競技者の体格、手脚の長さに関するすべての要素を考慮に入れて解釈する。これらにより、規定より寸法の小さい自転車が必要であると考える競技者は、ライセンスロードレース時にコミセール・ハネルに申告しなければならぬ。

<p>②)形状 ロード・タイムトライアルおよびトラック・レベルスにおける自転車競技の素材は、あらゆる形状(アーチ状、クレール状、梁状、その他の形状を含む)の管材または中実材による、組立て構成あるいは一体成形でよい。これらのホトム・クラウン・シェルを含む素材は、第 16 条 3.(2)①に示す三角形形状のチャンネルに収まる形状でなければならぬ。(形状(2)を見よ)</p> <p>③)形状 ロード・タイムトライアルおよびトラック・レベルスにおける自転車競技の素材は、あらゆる形状(アーチ状、クレール状、梁状、その他の形状を含む)の管材または中実材による、組立て構成あるいは一体成形でよい。これらのホトム・クラウン・シェルを含む素材は、第 16 条 3.(2)①に示す三角形形状のチャンネルに収まる形状でなければならぬ。(形状(2)を見よ)</p> <p>④)形状 ロード・タイムトライアルおよびトラック・レベルスにおける自転車競技の素材は、あらゆる形状(アーチ状、クレール状、梁状、その他の形状を含む)の管材または中実材による、組立て構成あるいは一体成形でよい。これらのホトム・クラウン・シェルを含む素材は、第 16 条 3.(2)①に示す三角形形状のチャンネルに収まる形状でなければならぬ。(形状(2)を見よ)</p>	<p>①)形状 ロード・タイムトライアルおよびトラック・レベルスにおける自転車競技の素材は、あらゆる形状(アーチ状、クレール状、梁状、その他の形状を含む)の管材または中実材による、組立て構成あるいは一体成形でよい。これらのホトム・クラウン・シェルを含む素材は、第 16 条 3.(2)①に示す三角形形状のチャンネルに収まる形状でなければならぬ。(形状(2)を見よ)</p> <p>②)形状 ロード・タイムトライアルおよびトラック・レベルスにおける自転車競技の素材は、あらゆる形状(アーチ状、クレール状、梁状、その他の形状を含む)の管材または中実材による、組立て構成あるいは一体成形でよい。これらのホトム・クラウン・シェルを含む素材は、第 16 条 3.(2)①に示す三角形形状のチャンネルに収まる形状でなければならぬ。(形状(2)を見よ)</p> <p>③)形状 ロード・タイムトライアルおよびトラック・レベルスにおける自転車競技の素材は、あらゆる形状(アーチ状、クレール状、梁状、その他の形状を含む)の管材または中実材による、組立て構成あるいは一体成形でよい。これらのホトム・クラウン・シェルを含む素材は、第 16 条 3.(2)①に示す三角形形状のチャンネルに収まる形状でなければならぬ。(形状(2)を見よ)</p> <p>④)形状 ロード・タイムトライアルおよびトラック・レベルスにおける自転車競技の素材は、あらゆる形状(アーチ状、クレール状、梁状、その他の形状を含む)の管材または中実材による、組立て構成あるいは一体成形でよい。これらのホトム・クラウン・シェルを含む素材は、第 16 条 3.(2)①に示す三角形形状のチャンネルに収まる形状でなければならぬ。(形状(2)を見よ)</p>
<p>1.(1)から(2)による。</p>	<p>①)形状 ロード・タイムトライアルおよびトラック・レベルスにおける自転車競技の素材は、あらゆる形状(アーチ状、クレール状、梁状、その他の形状を含む)の管材または中実材による、組立て構成あるいは一体成形でよい。これらのホトム・クラウン・シェルを含む素材は、第 16 条 3.(2)①に示す三角形形状のチャンネルに収まる形状でなければならぬ。(形状(2)を見よ)</p> <p>②)形状 ロード・タイムトライアルおよびトラック・レベルスにおける自転車競技の素材は、あらゆる形状(アーチ状、クレール状、梁状、その他の形状を含む)の管材または中実材による、組立て構成あるいは一体成形でよい。これらのホトム・クラウン・シェルを含む素材は、第 16 条 3.(2)①に示す三角形形状のチャンネルに収まる形状でなければならぬ。(形状(2)を見よ)</p> <p>③)形状 ロード・タイムトライアルおよびトラック・レベルスにおける自転車競技の素材は、あらゆる形状(アーチ状、クレール状、梁状、その他の形状を含む)の管材または中実材による、組立て構成あるいは一体成形でよい。これらのホトム・クラウン・シェルを含む素材は、第 16 条 3.(2)①に示す三角形形状のチャンネルに収まる形状でなければならぬ。(形状(2)を見よ)</p> <p>④)形状 ロード・タイムトライアルおよびトラック・レベルスにおける自転車競技の素材は、あらゆる形状(アーチ状、クレール状、梁状、その他の形状を含む)の管材または中実材による、組立て構成あるいは一体成形でよい。これらのホトム・クラウン・シェルを含む素材は、第 16 条 3.(2)①に示す三角形形状のチャンネルに収まる形状でなければならぬ。(形状(2)を見よ)</p>

<p>付表 2-1: ロード・レベルスの区分 (クラス)</p> <p>1. 国際(世界+大陸)競技日程</p> <p>クラス サークット 参加</p> <p>MEMANU HC UCI アフリカ・アジア (最多 60%)          UCI アフリカ・アジア          UCI アフリカ・アジア          UCI アフリカ・アジア          UCI アフリカ・アジア</p> <p>2. 国内競技日程</p> <p>国内競技日程 その構成、国内競技のクラス分けおよび参加規則の管理は、下記の条件を条件として、当該国内連盟の責任下にある。</p> <p>当該国の UCI コンチネンタル・チーム、地域およびクラウン・チーム、ナショナル・チームおよび育成チームのみが国内競技大会に参加できる。混成チームは UCI コンチネンタル・チームの競技者を含み得るが、国内競技大会には最多 3 の外国チームを受け入れることができる。</p> <p>国内連盟は、国境地帯に居住する外国競技者の参加についての協定を結ぶことができる。こうした競技者は外国競技者として認められ、これら協定は競技を管理するコンミッテール・パネルに提出されなければならない。</p>	<p>付表 3: ベナルチイ表</p> <table border="1"> <tr> <td>ロード</td> <td>男子エリート世界選手権 オリンピック男子エリート ワールド・カレッジ クラス HC および U1 - 男子 エリート</td> <td>その他の競技</td> </tr> <tr> <td>トラック</td> <td>男子エリート世界選手権 男子エリート年間競技 エリート6日間競技 その他のエリート競技</td> <td>その他の競技</td> </tr> <tr> <td>マウンテン・バイク</td> <td>エリート世界選手権 オリンピック競技 ワールドカップ</td> <td>その他の競技</td> </tr> <tr> <td>シクロクロス</td> <td>エリート世界選手権 ワールドカップ クラス1</td> <td>その他の競技</td> </tr> <tr> <td>パラサイクリング</td> <td>世界選手権 パリアレックス競技会 ワールドカップ</td> <td>その他の競技</td> </tr> <tr> <td>14056</td> <td>競技中の出来事</td> <td>競技中の出来事</td> </tr> </table>	ロード	男子エリート世界選手権 オリンピック男子エリート ワールド・カレッジ クラス HC および U1 - 男子 エリート	その他の競技	トラック	男子エリート世界選手権 男子エリート年間競技 エリート6日間競技 その他のエリート競技	その他の競技	マウンテン・バイク	エリート世界選手権 オリンピック競技 ワールドカップ	その他の競技	シクロクロス	エリート世界選手権 ワールドカップ クラス1	その他の競技	パラサイクリング	世界選手権 パリアレックス競技会 ワールドカップ	その他の競技	14056	競技中の出来事	競技中の出来事
ロード	男子エリート世界選手権 オリンピック男子エリート ワールド・カレッジ クラス HC および U1 - 男子 エリート	その他の競技																	
トラック	男子エリート世界選手権 男子エリート年間競技 エリート6日間競技 その他のエリート競技	その他の競技																	
マウンテン・バイク	エリート世界選手権 オリンピック競技 ワールドカップ	その他の競技																	
シクロクロス	エリート世界選手権 ワールドカップ クラス1	その他の競技																	
パラサイクリング	世界選手権 パリアレックス競技会 ワールドカップ	その他の競技																	
14056	競技中の出来事	競技中の出来事																	
<p>付表 2-1: ロード・レベルスの区分 (クラス)</p> <p>1. 国際(世界+大陸)競技日程</p> <p>クラス サークット 参加</p> <p>MEMANU HC UCI アフリカ・アジア (最多 60%)          UCI アフリカ・アジア          UCI アフリカ・アジア          UCI アフリカ・アジア          UCI アフリカ・アジア</p> <p>2. 国内競技日程</p> <p>国内競技日程 その構成、国内競技のクラス分けおよび参加規則の管理は、下記の条件を条件として、当該国内連盟の責任下にある。</p> <p>当該国の UCI コンチネンタル・チーム、地域およびクラウン・チーム、ナショナル・チームおよび育成チームのみが国内競技大会に参加できる。混成チームは UCI コンチネンタル・チームの競技者を含み得るが、国内競技大会には最多 3 の外国チームを受け入れることができる。</p> <p>国内連盟は、国境地帯に居住する外国競技者の参加についての協定を結ぶことができる。こうした競技者は外国競技者として認められ、これら協定は競技を管理するコンミッテール・パネルに提出されなければならない。</p>	<p>付表 3: ベナルチイ表</p> <table border="1"> <tr> <td>ロード</td> <td>男子エリート世界選手権 オリンピック男子エリート ワールド・カレッジ クラス HC および U1 - 男子 エリート</td> <td>その他の競技</td> </tr> <tr> <td>トラック</td> <td>男子エリート世界選手権 男子エリート年間競技 エリート6日間競技 その他のエリート競技</td> <td>その他の競技</td> </tr> <tr> <td>マウンテン・バイク</td> <td>エリート世界選手権 オリンピック競技 ワールドカップ</td> <td>その他の競技</td> </tr> <tr> <td>シクロクロス</td> <td>エリート世界選手権 ワールドカップ クラス1</td> <td>その他の競技</td> </tr> <tr> <td>パラサイクリング</td> <td>世界選手権 パリアレックス競技会 ワールドカップ</td> <td>その他の競技</td> </tr> <tr> <td>14056</td> <td>競技中の出来事</td> <td>競技中の出来事</td> </tr> </table>	ロード	男子エリート世界選手権 オリンピック男子エリート ワールド・カレッジ クラス HC および U1 - 男子 エリート	その他の競技	トラック	男子エリート世界選手権 男子エリート年間競技 エリート6日間競技 その他のエリート競技	その他の競技	マウンテン・バイク	エリート世界選手権 オリンピック競技 ワールドカップ	その他の競技	シクロクロス	エリート世界選手権 ワールドカップ クラス1	その他の競技	パラサイクリング	世界選手権 パリアレックス競技会 ワールドカップ	その他の競技	14056	競技中の出来事	競技中の出来事
ロード	男子エリート世界選手権 オリンピック男子エリート ワールド・カレッジ クラス HC および U1 - 男子 エリート	その他の競技																	
トラック	男子エリート世界選手権 男子エリート年間競技 エリート6日間競技 その他のエリート競技	その他の競技																	
マウンテン・バイク	エリート世界選手権 オリンピック競技 ワールドカップ	その他の競技																	
シクロクロス	エリート世界選手権 ワールドカップ クラス1	その他の競技																	
パラサイクリング	世界選手権 パリアレックス競技会 ワールドカップ	その他の競技																	
14056	競技中の出来事	競技中の出来事																	



構造(1B)

ロード・タイム・トライアルにおいては、ハンドルバー・延長部に操作部またはレバーを、75cm マークを超える握りの位置をもたさざらない限りにおいて、固定することができる。前節により規定されるトラックおよびロード競技においてはこの75cmの距離は身体形態上の理由により80cmまで延長できる。"身体形態上の理由"とは、競技者の身体部分の長さ起因するものと理解される。この理由により75から80cmの距離を使用する必要があると考える競技者は、そのバイク・チェック時にコミセール・ハネルに伝えなければならない。この場合、コミセール・ハネルは以下のテストを実施する。競技者が競技姿勢をとるとき、前腕と上腕の角度が120°以上にならないことを確認する。

第3章 競技種目

第28条 (ロード・レース種目) 参加者数の基準。  
 ② 【J】各チーム毎の正選手の数、最少3名、最多10名とする。主催者は、大会プログラムまたはテクニカル・ガイドと参加申込用紙に最多参加数を明記する。この数はすべてのチームに同数とする。この数を超過して参加することを考慮することはない。

種目	参加者数	距離
パラサイクリング	B 男子 B 女子	最大 120 km 最大 100 km
国際競技大会	C5 男子 C4 男子 C3 男子 C2 男子 C1 男子	最大 100 km 最大 100 km 最大 75 km 最大 75 km 最大 75 km
ワールドカップ	C5 女子 C4 女子 C3 女子 C2 女子 C1 女子	最大 75 km 最大 75 km 最大 60 km 最大 60 km 最大 60 km

種目	参加者数	距離
パラサイクリング	B 男子 B 女子	最大 120 km 最大 100 km
国際競技大会	C5 男子 C4 男子 C3 男子 C2 男子 C1 男子	最大 100 km 最大 100 km 最大 75 km 最大 75 km 最大 75 km
ワールドカップ	C5 女子 C4 女子 C3 女子 C2 女子 C1 女子	最大 75 km 最大 75 km 最大 60 km 最大 60 km 最大 60 km

ヘルメット	白ヘルメット	青ヘルメット	黒ヘルメット	黄ヘルメット
C4 男子および女子 H2 男子および女子 タンDEM女子 T2 女子	C4 男子および女子 H2 男子および女子 タンDEM女子 T2 女子	C3 男子および女子 H4 男子および女子 T1 男子	C3 男子および女子 H4 男子および女子 T1 男子	C1 男子および女子 H1 女子

ロード競技において間違った色のヘルメットを使用した競技者は、スタートを許されず、およびまたはレースから除外され、失格となる。

タンDEM競技の競技者は、原則として同一の競技服(ジャージ、パンツ)を着用しなければならない。

パラサイクリング競技大会で使用される自転車は、第16条の現行必要条件に合致しなければならない。身体形態上あるいは障害を理由として、例外は許容されるが、自転車に関するUCI規則の原則は守られなければならない。例として、競技者が変速機あるいはブレーキ・レバーを操作するために補助器具を必要とする場合、空気力学的優位に関する公平性や安全性が損なわれない限り、上肢に障害を持つ競技者にはハンドルバー・アダプターが許される。

人工的握りおよび装具を障害のある上肢に使用することは許されるが、自転車に固定してはならない。落車時の安全上の理由から、自転車の部品に固定した硬質の硬質の補綴補助具は許されない。

ハンドサイクルを除いて、競技者のポジションはベダル、サドルおよびハンドルバーのみにより支えられなければならない。

膝上切断の競技者は大腿のみを支える補装具を使用できるが、安全上の理由により大腿部を自転車に固定することはできない。これが意味するのは、補装具は自転車に付けられた、閉じられた基部と基部において最大10cm側面からなる半円筒形であるが、大腿を固定する器具の使用は許されない。

タンDEM競技の競技者は、原則として同一の競技服(ジャージ、パンツ)を着用しなければならない。

パラサイクリング競技大会で使用される自転車は、第16条の現行必要条件に合致しなければならない。身体形態上あるいは障害を理由として、例外は許容されるが、自転車に関するUCI規則の原則は守られなければならない。例として、競技者が変速機あるいはブレーキ・レバーを操作するために補助器具を必要とする場合、空気力学的優位に関する公平性や安全性が損なわれない限り、上肢に障害を持つ競技者にはハンドルバー・アダプターが許される。

人工的握りおよび装具を障害のある上肢に使用することは許されるが、自転車に固定してはならない。落車時の安全上の理由から、自転車の部品に固定した硬質の硬質の補綴補助具は許されない。

ハンドサイクルを除いて、競技者のポジションはベダル、サドルおよびハンドルバーのみにより支えられなければならない。

膝上切断の競技者は大腿のみを支える補装具を使用できるが、安全上の理由により大腿部を自転車に固定することはできない。これが意味するのは、補装具は自転車に付けられた、閉じられた基部と基部において最大10cm側面からなる半円筒形であるが、大腿を固定する器具の使用は許されない。

ハンドサイクルを除いて、競技者のポジションはベダル、サドルおよびハンドルバーのみにより支えられなければならない。

膝上切断の競技者は大腿のみを支える補装具を使用できるが、安全上の理由により大腿部を自転車に固定することはできない。これが意味するのは、補装具は自転車に付けられた、閉じられた基部と基部において最大10cm側面からなる半円筒形であるが、大腿を固定する器具の使用は許されない。

ロード用二輪車、タンDEM、三輪車およびハンドサイクルは独立した2系統の制動装置を備えなければならない。二輪車およびタンDEMは独立した制動装置を各車輪に備えなければならない。

ハンドサイクル、ハンドサイクルの場合、同軸輪のブレーキは、両輪に効くものでなければならない。ブレーキ機構は動的でなければならない。車輪固定もしくはストッパは許容されない。

三輪車、三輪車の場合、2系統のブレーキを、ひとつは前輪にひとつは後輪につけなければならない。ハンドサイクルと同じく、同軸車輪のブレーキは動的で、両輪に効くものでなければならない。

4.	インデヴァデュアル・タイムトライアル・レース インデヴァデュアル・タイムトライアルにおける距離の基 準は以下のとおり	T2 男子 T1 男子 T2 女子 T1 女子	最大 40 km 最大 30 km 最大 30 km 最大 30 km	インデヴァデュアル・タイムトライアル・レース インデヴァデュアル・タイムトライアルにおける距離の基 準は以下のとおり	T2 男子 T1 男子 T2 女子 T1 女子	最大 40 km 最大 30 km 最大 30 km 最大 30 km
	男子	世界選手権大会および オリンピック競技大会	その他の競技大会にお ける最大距離	男子	世界選手権大会および オリンピック競技大会	その他の競技大会にお ける最大距離
	~ B C5 C4 C3 C2 C1 T2 T1	~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	35 km 30 km 30 km 26 km 25 km 25 km 20 km 15 km	~ B C5 C4 C3 C2 C1 T2 T1 H5 H4 H3 H2 H1	~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	30 km 25 km 25 km 25 km 20 km 20 km 20 km 15 km 30 km 30 km 30 km 30 km 25 km 20 km
	女子	~ B C5 C4 C3 C2 C1 T2 T1	30 km 25 km 25 km 20 km 20 km 15 km 15 km	女子	~ B C5 C4 C3 C2 C1 T2 T1 H5 H4 H3 H2 H1	30 km 25 km 25 km 25 km 20 km 20 km 20 km 15 km 30 km 30 km 30 km 30 km 25 km 20 km
第29条	(シクロクロス種目) 競技の周回数、通常は先頭の競技者が1周回を完了 する時間により決定する。第3周回以降はラゲッジケー ズを1台置いて残り周回数を掲示する。	(シクロクロス種目) 競技の周回数、通常は先頭の競技者の周回時間を基 準に決定する。最終周回はベルにより示す。				
第30条	(マウンテンバイク種目) 3. 本連盟または加盟団体の主催する競技大会で実施す るマウンテンバイクの競技種目は ① タウンヒル: DH (タウンヒル) ② ハンデマウンテンバイク: タウンヒル: DH ③ ハンデマウンテンバイク: タウンヒル: DHM	(マウンテンバイク種目) 本連盟または加盟団体の主催する競技大会で実施す るマウンテンバイクの競技種目は ① タウンヒル: DH (タウンヒル) ② タウンヒル: インデヴァデュアル: DH ③ タウンヒル: デラソング: DHM ④ エンデュロ				

7.	(チーム・バイロット) UCI登録チームのメンバーであるプロフェッショナル競技 者はチーム・バイロットとして参加することはできない。 UCIプロチームあるいはUCIコンチネンタル・プロフェッ ショナル・チームのメンバーであった競技者は、チーム・バ イロットとして参加するまでに、契約を満了してから36ヶ 月の待機期間を尊重しなければならない。この待機期間 は、UCI規則条項1.1.04.11に記述されるその他のUCIチ ームのメンバーであった競技者については24ヶ月とする。 18歳以上の男子および女子の競技者は、下記競技大会 (すべての種目を含み)のうちのひとつに、所属する国内 連盟から選抜されたことがないという条件の下に、タンデ ム・バイロットとして競技できる。 - UCI 世界選手権大会(マスターズを除く)、オリンピック 競技大会 - パラサイクリング競技大会に先立つ少な くとも36ヶ月以内 - UCI ワールドカップ、地域大会または大陸選手権大 会 - パラサイクリング競技大会に先立つ少なくとも 24ヶ月以内 盲人あるいは視覚障害者の各競技者は、UCI競技大会 に最多1名のバイロットを認められる。	(チーム・バイロット) UCI登録チームのメンバーであるプロフェッショナル競技 者はチーム・バイロットとして参加することはできない。 UCIプロチームあるいはUCIコンチネンタル・プロフェッ ショナル・チームのメンバーであった競技者は、チーム・バ イロットとして参加するまでに、契約を満了してから24ヶ 月の待機期間を尊重しなければならない。この待機期間 は、UCI規則条項1.1.04.11に記述されるその他のUCIチ ームのメンバーであった競技者については12ヶ月とする。 18歳以上の男子および女子の競技者は、下記競技大会 (すべての種目を含み)のうちのひとつに、所属する国内 連盟から選抜されたことがないという条件の下に、タンデ ム・バイロットとして競技できる。 - UCI 世界選手権大会(マスターズを除く)、オリンピック 競技大会 - パラサイクリング競技大会に先立つ少な くとも24ヶ月以内 - UCI ワールドカップ、地域大会または大陸選手権大 会 - パラサイクリング競技大会に先立つ少なくとも 12ヶ月以内 盲人あるいは視覚障害者の各競技者は、UCI競技大会 に最多1名のバイロットを認められる。
	15.	15. 下記の区分の競技者によるレースである: 男子 - H4: H3: H2: H1 女子 - H4: H3: H2: H1 チームは3名の競技者と補充により構成される。チーム は、混成とすることができ、上記の区分からの競技 者で構成するものとする。 すべてのパラサイクリングのチーム・ビルド競技におい て、すべての与えられた構成(ナショナル・チーム、トリー ド・チーム、...)において最多2チームであるものとする。 各構成において、それがすべて女性のチームの場合のみ、 3番目のチームに登録される。以下の表から見ると おり、3人のチーム・ビルド参加者のためのポイント合計 は1ポイントの1競技者をきめて、最大6ポイントでなけれ ばならない。
26.	性別、クラスおよびポイント	性別、クラスおよびポイント
	男子 H4 3 女子 H4 2	男子 H5 3 女子 H5 2
	男子 H3 3 女子 H3 2	男子 H4 3 女子 H4 2
	男子 H2 2 女子 H2 1	男子 H3 2 女子 H3 1
	男子 H1 1 女子 H1 1	男子 H2 1 女子 H2 1
	男子 H1 1 女子 H1 1	男子 H1 1 女子 H1 1
27.	(競技機材) IPCロードレースにおけるすべての機能クラスおよび区分 において、競技者は自身の下記に示す正しい区分色ある は適切な色彩のカバーを使用したヘルメットを着用しなけ ればならない。 赤ヘルメット: C5 男子および女子 T2 男子および女子 H3 男子および女子 タンデム男子	(競技機材) IPCロードレースにおけるすべてのロードレースにおいて、 競技者は自身の下記に示す正しいヘルメットを着用しな ければならない。 赤ヘルメット: C5 男子および女子 T2 男子 H4 男子および女子 タンデム男子
	性別、クラスおよび区分	性別、クラスおよび区分
	男子 自転車 - C5: C4: C3: C2: C1	男子 自転車 - C5: C4: C3: C2: C1
	距離	距離
	15 km	10 km

・ 手首までの手（手が傾れている場合はハンドルバーも含まれる）  
 複數箇所で支点を取った場合に、ポイントは累積される。からだの一部または複數箇所が障害物または地面に接触した場合、ペナルティ・ポイントを科される。競技者のハランズを取戻すことにならない自転車の一部の地面または障害物への接触は許される。  
 バイクのリアアールの動作中に重量をかけずに自転車または体の一部が傾れにくること、スタンド・ステイは許される。片足で一点で回転することは許される。  
 他のカテゴリーの競技のゲートに入る、自身のカテゴリーのゲートあるいは矢印をとばす、あるいは正しい順番でゲートあるいは矢印を乗車しない(5点)

5. 他のカテゴリーの競技のゲートに入る、自身のカテゴリーのゲートあるいは矢印をとばす、あるいは正しい順番でゲートあるいは矢印を乗車しない(5点)

**第9章 審判表**

第37条	(罰則表) ロードレース等の罰則は、ペナルティ表に定める。ただし、国内競技については本連盟が、表中の「その他の競技の欄」に規定するより低位のペナルティを設定できる。	(罰則表) 罰則は、ペナルティ表に定める。ただし、国内競技については本連盟が、表中の「その他の競技の欄」に規定するより低位のペナルティを設定できる。
第39条	(異議申立ての制限時間) 2. ロードレースにおける異議申立ては、フィニッシュ制限時刻または最後の競技者のフィニッシュ後、30分以内に提出しなければならない。コミセール・ハネルのそれ以前に提出しなければならない。決定あるいは順位に対する異議申立ては、決定が下されあるいは結果が公表されてから30分以内に提出しなければならない。ステージレースの順位に関する異議申立ては、次のステージのスタート以前に提出しなければならない。	(異議申立ての制限時間) 異議申立ては、フィニッシュ制限時刻または最後の競技者のフィニッシュ後、30分以内に提出しなければならない。コミセール・ハネルのそれ以前に提出しなければならない。決定あるいは順位に対する異議申立ては、決定が下されあるいは結果が公表されてから30分以内に提出しなければならない。ステージレースの順位に関する異議申立ては、次のステージのスタート以前に提出しなければならない。

**第11章 競技大会の開催および準備**

第41条	(競技大会・競技日程) (競技日程の申請と作成の期日) 競技日程は、毎年、歴年あるいは競技シーズンに合わせて作成する。 加盟団体および国内の競技大会主催者は、次年度に開催する競技大会について11月30日までに本連盟に申請する。ただし、シクロクロスについては当該年度の5月31日までに申請する。 本連盟は、国内競技日程を12月末までに作成する。ただし、原則としてロードレースの国内選手権大会の日として6月の最終週中、シクロクロスの国内選手権大会の日としてUCI理事會が認可した日、マウンテンバイクの国内選手権大会の日として第29週末、BMX国内選手権大会の日として7月の第1週末を留保する。トライアル国内選手権大会は、6月の最終週末に行なわれなければならない。しかしながら、マウンテンバイク国内選手権大会とともに開催できる。第29週末となる。	(競技大会・競技日程) (競技日程の申請と作成の期日) 競技日程は、毎年、歴年あるいは競技シーズンに合わせて作成する。 加盟団体および国内の競技大会主催者は、次年度に開催する競技大会について11月30日までに本連盟に申請する。ただし、シクロクロスについては当該年度の5月31日までに申請する。 本連盟は、国内競技日程を12月末までに作成する。ただし、原則としてロードレースの国内選手権大会の日として6月の最終週中、シクロクロスの国内選手権大会の日としてUCI理事會が認可した日、マウンテンバイクの国内選手権大会の日として第29週末、BMX国内選手権大会の日として7月の第1週末を留保する。トライアル国内選手権大会は、6月の最終週末に行なわれなければならない。しかしながら、マウンテンバイク国内選手権大会とともに開催できる。第29週末となる。
3.	(国際競技大会の開催申請) 競技大会主催者は本連盟に、世界あるいは大陸競技日程に登録されるべき競技大会を申請する。	(国際競技大会の開催申請) 競技大会主催者は本連盟に、世界あるいは大陸競技日程に登録されるべき競技大会を申請する。3つ以上の国外連盟の競技者が参加した国内競技日程に登録されたシクロクロス、マウンテンバイクまたはBMX競技の主催者、2つ以上の国外連盟の競技者が参加したトライアル競技、トライアル、室内自転車競技の主催者は、その次回開催の競技大会を国際競技日程に含めることを要請しなければならない。国際競技日程に含まれることが拒否された場合は、その競技は国内競技日程に含まれない。
(1)	本連盟は、UCIと当該大陸連盟に、競技部門ごとにUCIの指定する期限までに申請書を提出する。	本連盟は、UCIと当該大陸連盟に、競技部門ごとにUCIの指定する期限までに申請書を提出する。

本連盟は、UCIと当該大陸連盟に、競技部門ごとにUCIの指定する期限までに申請書を提出する。

本連盟は、UCIと当該大陸連盟に、競技部門ごとにUCIの指定する期限までに申請書を提出する。

本連盟は、UCIと当該大陸連盟に、競技部門ごとにUCIの指定する期限までに申請書を提出する。

**第13章 総務および競技担当役員の仕事**

第55条	(アビール・パナール) 競技大会の競技面を監督管理する。ただし、国際競技大会	(削除)
------	---	------

**第21章 パラサイクリング**

第97条	(パラサイクリング) パラサイクリング競技には、UCI規則第16部において定義された、パラサイクリング・スポーツ・クラス・プロフィールを持つ競技者が参加資格を有する。 (クラス分け) パラサイクリング・クラス分けの目的は、競技における競技者の成功がトレーニング、体育学、および個人的な運動能力に頼ることができるよう、競技結果上の損傷の影響を最小限にすることである。クラス分けは進行中の手順である。すべての競技者が、競技者のための一貫性と公平性を確保するためのクラス分けの進行中による、規則的な観察下におかれる手段としての進行中のプロセスである。 この目的を達成するために、競技者が彼らの損傷に起因する活動限界の程度に従ってクラス分けされる。競技者は、彼らの損傷が自転車競技における能力の核となる決定因子にどの位影響するかによって位置づけられる。 ● 競技の適性を決定するため、そして ● 競技のために競技者をグループにするため。	(パラサイクリング) パラサイクリング競技には、UCI規則第16部において定義された、パラサイクリング・スポーツ・クラス・プロフィールを持つ競技者が参加資格を有する。 (クラス分け) パラサイクリング・クラス分けの目的は、競技における競技者の成功がトレーニング、体育学、および個人的な運動能力に頼ることができるよう、競技結果上の損傷の影響を最小限にすることである。クラス分けは進行中の手順である。すべての競技者が、競技者のための一貫性と公平性を確保するためのクラス分けの進行中による、規則的な観察下におかれる手段としての進行中のプロセスである。 この目的を達成するために、競技者が彼らの損傷に起因する活動限界の程度に従ってクラス分けされる。競技者は、彼らの損傷が自転車競技における能力の核となる決定因子にどの位影響するかによって位置づけられる。 ● 競技の適性を決定するため、そして ● 競技のために競技者をグループにするため。																																																
6.	パラサイクリング・スポーツ・クラスは以下のとおり： <table border="1"> <tr><td>ハンドバイククラス H1</td><td>トライアルクラス T1</td><td>自転車競技</td><td>カンナム</td></tr> <tr><td>ハンドバイククラス H2</td><td>トライアルクラス T2</td><td>自転車競技クラス C1</td><td>カンナムクラス B</td></tr> <tr><td>ハンドバイククラス H3</td><td>トライアルクラス T3</td><td>自転車競技クラス C2</td><td>カンナムクラス C</td></tr> <tr><td>ハンドバイククラス H4</td><td>トライアルクラス T4</td><td>自転車競技クラス C3</td><td>カンナムクラス D</td></tr> <tr><td>ハンドバイククラス H5</td><td>トライアルクラス T5</td><td>自転車競技クラス C4</td><td>カンナムクラス E</td></tr> <tr><td>ハンドバイククラス H6</td><td>トライアルクラス T6</td><td>自転車競技クラス C5</td><td>カンナムクラス F</td></tr> </table>	ハンドバイククラス H1	トライアルクラス T1	自転車競技	カンナム	ハンドバイククラス H2	トライアルクラス T2	自転車競技クラス C1	カンナムクラス B	ハンドバイククラス H3	トライアルクラス T3	自転車競技クラス C2	カンナムクラス C	ハンドバイククラス H4	トライアルクラス T4	自転車競技クラス C3	カンナムクラス D	ハンドバイククラス H5	トライアルクラス T5	自転車競技クラス C4	カンナムクラス E	ハンドバイククラス H6	トライアルクラス T6	自転車競技クラス C5	カンナムクラス F	パラサイクリング・スポーツ・クラスは以下のとおり： <table border="1"> <tr><td>ハンドバイククラス H1</td><td>トライアルクラス T1</td><td>自転車競技</td><td>カンナム</td></tr> <tr><td>ハンドバイククラス H2</td><td>トライアルクラス T2</td><td>自転車競技クラス C1</td><td>カンナムクラス B</td></tr> <tr><td>ハンドバイククラス H3</td><td>トライアルクラス T3</td><td>自転車競技クラス C2</td><td>カンナムクラス C</td></tr> <tr><td>ハンドバイククラス H4</td><td>トライアルクラス T4</td><td>自転車競技クラス C3</td><td>カンナムクラス D</td></tr> <tr><td>ハンドバイククラス H5</td><td>トライアルクラス T5</td><td>自転車競技クラス C4</td><td>カンナムクラス E</td></tr> <tr><td>ハンドバイククラス H6</td><td>トライアルクラス T6</td><td>自転車競技クラス C5</td><td>カンナムクラス F</td></tr> </table>	ハンドバイククラス H1	トライアルクラス T1	自転車競技	カンナム	ハンドバイククラス H2	トライアルクラス T2	自転車競技クラス C1	カンナムクラス B	ハンドバイククラス H3	トライアルクラス T3	自転車競技クラス C2	カンナムクラス C	ハンドバイククラス H4	トライアルクラス T4	自転車競技クラス C3	カンナムクラス D	ハンドバイククラス H5	トライアルクラス T5	自転車競技クラス C4	カンナムクラス E	ハンドバイククラス H6	トライアルクラス T6	自転車競技クラス C5	カンナムクラス F
ハンドバイククラス H1	トライアルクラス T1	自転車競技	カンナム																																															
ハンドバイククラス H2	トライアルクラス T2	自転車競技クラス C1	カンナムクラス B																																															
ハンドバイククラス H3	トライアルクラス T3	自転車競技クラス C2	カンナムクラス C																																															
ハンドバイククラス H4	トライアルクラス T4	自転車競技クラス C3	カンナムクラス D																																															
ハンドバイククラス H5	トライアルクラス T5	自転車競技クラス C4	カンナムクラス E																																															
ハンドバイククラス H6	トライアルクラス T6	自転車競技クラス C5	カンナムクラス F																																															
ハンドバイククラス H1	トライアルクラス T1	自転車競技	カンナム																																															
ハンドバイククラス H2	トライアルクラス T2	自転車競技クラス C1	カンナムクラス B																																															
ハンドバイククラス H3	トライアルクラス T3	自転車競技クラス C2	カンナムクラス C																																															
ハンドバイククラス H4	トライアルクラス T4	自転車競技クラス C3	カンナムクラス D																																															
ハンドバイククラス H5	トライアルクラス T5	自転車競技クラス C4	カンナムクラス E																																															
ハンドバイククラス H6	トライアルクラス T6	自転車競技クラス C5	カンナムクラス F																																															

<p>第56条 (チーム・コミセール)</p> <p>1. チーム・コミセールは、コミセール・パネルの責任者であり、競技の審判と進行を総括する。ロード・レースなどで特にレース・ディレクタをおく場合以外は、チーム・コミセールが競技進行に關し指示する。</p> <p>2.</p> <p>3. ①</p> <p>②</p> <p>③</p> <p>④</p> <p>4. ①</p> <p>②</p> <p>③</p> <p>④</p> <p>5. ①</p> <p>②</p> <p>第57条 (コミセール・パネル)</p> <p>2. コミセールは、違反行為と、その権限において科したペナルティを記録しなければならぬ。各コミセールは個々に、違反を監視し、それらを署名した報告書に記録する。</p>	<p>各においてチーム・コミセールが競技運営の責任者となり、競技大会における裁定の最終責任者となる。</p> <p>1. コミセール・パネルのメンバーは、競技大会のすべての面に立会い、コミセール・審判員らと接触を保つ。コミセール・パネルのメンバーは、競技のいかなる細部をも監視していなければならない。</p> <p>2. コミセール・パネルの決定に対し異議申立てがなされた場合、コミセール・パネルが最終の決定を下す。</p> <p>(1) コミセール・パネルはコミセールによる決定がUCI規則、本連盟競技規則の条項に基づいているかどうかを確認し、またその違反が具体的に証明されたいかなるかを確認することを義務とする。</p> <p>(2) コミセール・パネルは、コミセールが違反に対して下した決定が上記の2つの条件にかなっているか認めなければならない。コミセールが決定を承認する場合は、コミセールが決定を承認する。</p> <p>(3) コミセール・パネルは、競技を再スタートさせる権限は、コミセールが決定の過程において再スタートを命じない場合、パネルはその異議申立てが条件にかなっている場合、コミセールにその意見を表明する。</p> <p>3. コミセールの決定に正当な理由がある場合、コミセール・パネルは罰則を重くしたり軽くしたりして修正するとは許されない。</p>
<p>第56条 (チーム・コミセール)</p> <p>1. チーム・コミセールは、コミセール・パネルの責任者であり、競技の審判と進行を総括する。ロード・レースなどで特にレース・ディレクタをおく場合以外は、チーム・コミセールが競技進行に關し指示する。</p> <p>2.</p> <p>3. ①</p> <p>②</p> <p>③</p> <p>④</p> <p>4. ①</p> <p>②</p> <p>③</p> <p>④</p> <p>5. ①</p> <p>②</p> <p>第57条 (コミセール・パネル)</p> <p>2. コミセールは、違反行為と、その権限において科したペナルティを記録しなければならぬ。各コミセールは個々に、違反を監視し、それらを署名した報告書に記録する。</p>	<p>(チーム・コミセール)</p> <p>チーム・コミセールは、コミセール・パネルの責任者であり、競技の審判と進行を総括する。ロード・レースなどで特にレース・ディレクタをおく場合以外は、チーム・コミセールが競技進行に關し指示する。</p> <p>また、規則に規定していない事項についてもその解決を図るためのあらゆる権限を持つ。ただし、規則を修正する権限はない。</p> <p>次の任務にあたる：</p> <p>ライセンズ・コントロールの責任者となる。</p> <p>各競技の開始前に、周回板、ペナル、各種電気・電子装置、その他競技に必要な器材の準備が整っているかを確認する。</p> <p>コミセール、アシスタント・コミセールに任務分組を指示する。</p> <p>各コミセール、アシスタント・コミセールが所定の位置についていることを確認する。</p> <p>ロード・レースにおいては前記に加え次の任務にあたる：</p> <p>通常はレース・ディレクタの任務も併せて務める。</p> <p>審判員No.1に乗車し、競技の進行について監督管理する。必要に応じて、レース・ディレクタを指定する。</p> <p>ピット、チェック・ポイント、警備、安全施設等が、全行程にわたって設置されていることを確認するか、自らの責任において確認させる。</p> <p>各競技担当役員が所定の配置につき、各車両、器材の準備が整っているか確認するか、自らの責任において確認させる。</p> <p>タイムトライアル・ロード・レースにおいては前記に加え次の任務にあたる：</p> <p>予期しない遅いとき、追い越しが短くならないよう競技の進行について監督管理する。</p> <p>必要があれば審判員を使用し、監督する。</p>

<p>第20章 <b>トライアル競技規則</b></p> <p>第96条 (トライアル規則)</p> <p>2. 競技規則</p> <p>(4) スタートと乗車の規則</p> <p>(9) ペナルティ点数</p> <p>① セグメントにおいて下記のペナルティ点を果敢的に競技者に科すことができる：</p> <p>1. からの一部あるいはタイヤの範囲外のトライアルバイクの一部で、競技者のバランスを取り戻すために、障害物または地面に支点をとる(1点) バイク・トライアルの動作中にこのこと、スタンプ・ステイルは許される。片足で一点で回転することは許される。</p>	<p>A. UCI BMX ランキング(適用できるレベル)によるシーディング；</p> <p>B. タイムトライアルを用いてシーディングする。</p> <p>10. 規則違反、ペナルティおよび異議申し立て</p> <p>(2) ペナルティ</p> <p>2. 降格</p> <p>競技者は、レースの実績のランキング順と異なる順位とされる。"降格" (REL)と記録される。チーム・コミセールは違反の重大性に基き競技者の順位について決定できる。</p> <p>3. 競技者の失格</p> <p>競技者は失格となり、これにより、違反を犯した競技カテゴリーあるいは競技大会のすべてのレースには出場することができない。競技者は結果表において順位付けされず、この競技のランキング・ポイントを得られない。</p> <p>4. 競技会場からの違反者除外</p> <p>コミセール・パネルは、この規則書に定める条文に対する違反に対し、競技会場からの違反者を決定し、その理由を通知する。</p> <p>UCIは、独自の裁量により、BMX 大会で競技を行う権利を競技者に与えるライセンスを、任意の期間、あるいは永久に取り消すことができる。下記の違反がライセンス停止の理由となる：</p> <p>a. 偽名で競技を行った場合。</p> <p>b. レースの登録時に、不正な有利となるために、年齢、クラス等に関して、虚偽の情報を使用した場合。</p> <p>c. レースの結果をあらかじめ決めるために、他の1名以上の競技者と共謀した場合。</p> <p>d. 他の人物(BMX 大会の競技者、コミセール、オフィシャル)ならびに観客を含むが、これらに限定されない)から、または、他の人物に、レースの結果に影響を与えるための賄賂または他の勧誘手段を直接または間接に提供、供与または受領した場合。</p> <p>e. ラップタイム・スコアリング・システム機器を変えたり、取り外したり、干渉したり、あるいは正確に対応しないものを付けることも含んで、競技規則に適合しない自転車や故意にエントリしたり、その自転車で競技を行った場合。</p> <p>f. 検査後に、競技規則の違反となるような自転車の改造を行った場合。</p> <p>g. 特定の大会に關係しているか否かを問わず、BMX 競技に不利なならぬ不正な所行、不品行あるいは行為に採られた場合。</p>
<p>第20章 <b>トライアル競技規則</b></p> <p>第96条 (トライアル規則)</p> <p>2. 競技規則</p> <p>(4) スタートと乗車の規則</p> <p>(9) ペナルティ点数</p> <p>① セグメントにおいて下記のペナルティ点を果敢的に競技者に科すことができる：</p> <p>1. からの一部あるいはタイヤの範囲外のトライアルバイクの一部で、競技者のバランスを取り戻すために、障害物または地面に支点をとる(1点) バイク・トライアルの動作中にこのこと、スタンプ・ステイルは許される。片足で一点で回転することは許される。</p>	<p>A. UCI BMX ランキング(適用できるレベル)によるシーディング；</p> <p>B. タイムトライアルを用いてシーディングする。</p> <p>C. ラップタイム・ポイント</p> <p>D. スタンプの結果によるシーディング</p> <p>規則違反、ペナルティおよび異議申し立て</p> <p>(2) ペナルティ</p> <p>降格</p> <p>競技者は、"降格" (REL)とされ、モトにスタートした競技者数に2を加えて記録される。</p> <p>3. 競技者の失格</p> <p>競技者は失格となり、これにより、違反を犯した競技カテゴリーあるいは競技大会のすべてのレースには出場することができない。競技者は結果表において順位付けされず、この競技のランキング・ポイントを得られない。</p> <p>4. 競技会場からの違反者除外</p> <p>コミセール・パネルは、この規則書に定める条文に対する違反に対し、その唯一の裁量において競技会場からの違反者除外する権限を持つ。</p> <p>UCIは、独自の裁量により、BMX 大会で競技を行う権利を競技者に与えるライセンスを、任意の期間、あるいは永久に取り消すことができる。下記の違反がライセンス停止の理由となる：</p> <p>a. 偽名で競技を行った場合。</p> <p>b. レースの登録時に、不正な有利となるために、年齢、クラス等に関して、虚偽の情報を使用した場合。</p> <p>c. レースの結果をあらかじめ決めるために、他の1名以上の競技者と共謀した場合。</p> <p>d. 他の人物(BMX 大会の競技者、コミセール、オフィシャル)ならびに観客を含むが、これらに限定されない)から、または、他の人物に、レースの結果に影響を与えるための賄賂または他の勧誘手段を直接または間接に提供、供与または受領した場合。</p> <p>e. ラップタイム・スコアリング・システム機器を変えたり、取り外したり、干渉したり、あるいは正確に対応しないものを付けることも含んで、競技規則に適合しない自転車や故意にエントリしたり、その自転車で競技を行った場合。</p> <p>f. 検査後に、競技規則の違反となるような自転車の改造を行った場合。</p> <p>g. 特定の大会に關係しているか否かを問わず、BMX 競技に不利なならぬ不正な所行、不品行あるいは行為に採られた場合。</p>



<p>3. 各コミセールは個々に下記の手段を講じることができる。</p> <p>② 警告、糾弾を与えることができる。</p> <p>6. 以上の決定は署名した報告書とされる。</p> <p>8. ①</p> <p>②</p> <p>③</p>	<p>コミセールの報告書は、最終的な監視した事実で構成される。</p> <p>ペナルティはコミセール・パネルの多数決により宣言される。</p> <p>コミセール・パネルは、その解散の瞬間までに気付いた違反に関して意見を言うことができる。</p> <p>各コミセールは個々に下記の手段を講じることができる。</p> <p>警告、糾弾を与えることができる。</p> <p>以上の決定は署名した報告書とされる。</p> <p>①</p> <p>②</p> <p>③</p>	<p>ペナルティはコミセール・パネルにより宣言される。</p> <p>コミセール・パネルは、その解散の瞬間までに気付いた違反に関して意見を言うことができる。</p> <p>各コミセールは個々に下記の手段を講じることができる。</p> <p>警告、糾弾を与えることができる。</p> <p>以上の決定は署名した報告書とされる。</p> <p>コミセール・パネルあるいは適切な場合一人のコミセールによる事実の観察、競技における状況の評価、競技規則の適用あるいはその他の決定に対するいかなる異議申し立ても認められない。</p> <p>ペナルティはコミセール・パネルは、コミセール・パネルのうち1名を判定員に指名しなければならない。判定員はこの任務を自身で行うことはできない。</p> <p>判定員はスプリング、ケイリン、ポイント・レース、マディノ、エリミネイションおよび速度競走において配置することを義務付ける。</p> <p>この判定員は、競技中の競技者の行為とその競技規則の順守を専門に監視する。この問題において、判定員は単独で遅やかにペナルティを科し、あるいは規則の下に必要な決定を行う。判定員は、自ら選択した他のコミセールまたはその他の人員の助力を得ることができる。</p> <p>判定員は、トラックの外側の、トラック全体を見渡せる瞭望台で離れた場所から監視しなければならない。彼は、コミセールと直接連絡できる手段を与えられなければならない。レース中の出来事をスロー再生することができるビデオ・システムも利用できることが望ましい。このシステムは、チーム・コミセールが非公明で同じ映像を見ることが可能にするために、フィニッシュ・ラインの近くに置かれたテレビディスプレイと接続することが望ましい。</p> <p>ロード・レースにおいては次の任務にもあたる：</p> <p>① 審判員No.2に乗り、競技者集団より先行して、審判員No.1と連絡を取りつつ競走を監視する。</p> <p>② 審判員No.3に乗り、主に後方の集団を監視する。チーム・カーがある場合はこれらを監視する。</p> <p>③ 狭小なコースや山岳路ではモーター・サイクルに乗りしタイムトライアル・ロード・レースにおいては次の任務にもあたる：</p> <p>① フライイングを監視する。</p> <p>② 折返し点を監視する。</p> <p>③ 必要があれば審判員を使用し監視する。</p> <p>11. レース・スケジュール</p> <p>① 競技大会に関するすべてのコミュニケーション(指示事項、競技成績、スタート・リスト、競技番組等)を作成する。</p> <p>② 競技中の失格者、棄権者を記録する。</p> <p>③ 競技大会終了時に、競技経過、競技結果の報告書を作成し、総務、競技西委員会の作成する事業報告書に収録する。</p> <p>第58条 (アシスタント・コミセール)</p> <p>アシスタント・コミセールは、競技大会の管理者が指名し総務委員長、競技委員長が承認する。その任務として、</p>
---	---	--

<p>7. 衣服および安全装備</p> <p>(1) 検査</p> <p>2. 検査員あるいはレース・コミセールが競技者の装備について安全性に欠けた場合においては、それが本規則のなんらかの特定の規定に違反しているか否かを問わず、当該競技者はトラック上で競技を行うことはできない。</p> <p>3. 検査員またはレース・コミセールが装備に関して競技者に与えたすべての指示に従わない競技者は、いかなる競技にも出場することは許可されない。</p> <p>(3) ジャージ</p> <p>1. ジャージは競技者の手首の下まで伸びる密着しない長袖のものでなければならない。伸縮性の生地は許可されない。</p> <p>2. ジャージの生地は、それを伸ばすことなく最小60cm<sup>2</sup>にできる十分な余裕がなければならない。これは人差し指と親指とで採ることをにより計測する。</p> <p>3. ジャージは邪魔にならないようにパンツに押し込まなければならない。</p> <p>(4) パンツ</p> <p>1. パンツは防滴素材で作られた密着しないロング・パンツとする。伸縮性の生地は許可されない。パンツの生地はそれを伸ばすことなく最小60cm<sup>2</sup>にできる十分な余裕がなければならない。これは人差し指と親指とで採ることをにより計測する。</p> <p>2. 膝の保護から完全にすね、あるいは足首の上部まで伸びる、硬い表面を持つ膝と肘のプロテクタを用いる場合、防滴素材で作られたショート・パンツは許可される。パンツの下、あるいは膝の反故でない限り、伸縮性素材は許可されない。パンツの生地は、それを伸ばすことなく最小60cm<sup>2</sup>にできる十分な余裕がなければならない。これは人差し指と親指とで採ることをにより計測する。</p> <p>3. パンツは1体の構成で、腰部でジャージと分かれていないなければならない。ワンピース・スキンスーツは許可されない。</p> <p>- 足をカバーするために伸びる必要があるきつくフィットしたパンツ</p> <p>- 伸縮性生地のパンツ</p> <p>- 腰上競技用ジョギングパンツ</p> <p>- ロード・トラック競技用パンツ</p> <p>- デニム / ジーンズ</p> <p>シーディング</p> <p>(1) 一般原則</p> <p>2. 以下のうち一方法でシーディングする；</p>	<p>①</p> <p>②</p> <p>③</p> <p>11.</p> <p>①</p> <p>②</p> <p>③</p>	<p>のみにより使用される。これらの旗の意味は下記のものとする：</p> <p>グリーン：コースに障害物がなく、レースを続行できる。</p> <p>イエロー：コースに障害物があり、レース参加競技者はゲートで待機する。</p> <p>レッド：トラック上の競技者は、即座に停止してスタート・ゲートに戻り、その後の指示を待つ。</p> <p>検査</p> <p>衣服および安全装備</p> <p>検査</p> <p>検査員あるいはレース・コミセールが競技者の装備について安全性に欠けた場合においては、それが本規則のなんらかの特定の規定に違反しているか否かを問わず、当該競技者はトラック上で競技を行うことはできない。</p> <p>すべての競技者は、トリムとスタイルにおいてBMXタイプの衣服および他の自転車競技部門とまったく異なる衣類を着用しなければならない。</p> <p>検査員またはレース・コミセールが装備に関して競技者に与えたすべての指示に従わない競技者は、いかなる競技にも出場することは許可されない。彼の装備の不適合が気づかれるならばチーム・コミセールにより、降格されるか、失格とされる。</p> <p>ジャージ</p> <p>ジャージは競技者の手首の下まで伸びる密着しない長袖のものでなければならない。</p> <p>BMX ジャージとして下記は許可されない：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 伸縮性生地</li> <li>- 腰より上のジップ</li> <li>- 後部ポケット</li> <li>- ロード・トラック用のジャージ</li> </ul> <p>ジャージは邪魔にならないようにスタート前にパンツに押し込まなければならない。</p> <p>パンツは防滴素材で作られた密着しないロング・パンツとする。</p> <p>膝の保護から完全にすね、あるいは足首の上部まで伸びる、硬い表面を持つ膝と肘のプロテクタを用いる場合、防滴素材で作られたショート・パンツは許可される。パンツの下、あるいは膝の反故でない限り、伸縮性素材は許可されない。</p> <p>パンツは1体の構成で、腰部でジャージと分かれていないなければならない。</p> <p>以下の品目はBMXパンツとして許されない：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ワンピース・スキンスーツ</li> <li>- 足をカバーするために伸びる必要があるきつくフィットしたパンツ</li> <li>- 伸縮性生地のパンツ</li> <li>- 腰上競技用ジョギングパンツ</li> <li>- ロード・トラック競技用パンツ</li> <li>- デニム / ジーンズ</li> </ul> <p>シーディング</p> <p>一般原則</p> <p>以下のうち一方法でシーディングする；</p>
--	--	--

<p>9. シーディング</p> <p>(1) 一般原則</p> <p>2. 以下のうち一方法でシーディングする；</p>	<p>アシスタント・コミセールは、競技大会の管理者が指名し総務委員長、競技委員長が承認する。その任務として、</p>
---	--

チーム・コミセールの指示に従い審判業務にあたる。  
 アシスタント・コミセールの指示が当該競技大会の前日に不在の場合、コミセールの必要な指示すべてを与えるために、競技の開始前にアシスタント・コミセールの会議を開く。

1.
  - ① スタート(出発合図・出発の判定)  
 スタートはコミセールの中から選任する。  
 スタートは参加全競技者が招集されているか否かを、自身で確認するか、自己の責任において他の者に確認させる。  
 スタートのみが、スタートの有効性を判定できる。  
 スタートは、大きい音を出すデバイスによるか、あるいは、笛、旗またはベルを使用して行う。スタートが無効の場合にはデバイス、笛またはベルによって合図する。  
 スタートおよびスタート・ジャッジは、スタートラインに付いた競技者が規定に従った整備をしているか、競技者のゼッケンが定められた位置に正しく付けられているか、競技者は直ちに使用することのできる一対の予備車輪を用意しているか、などの確認をする。  
 競技に必要な指示を与える。  
 タイムトラアル・ロード・レーンにおいてはフライング秒数を計時・記載する。  
 ロード・レーン等においては各書スタートを採用することができる。  
 フラインジ・ジャッジ(決勝審判)  
 コミセールの任務にあたる。必要に応じて他の役員の援助を要することができる。  
 フラインジに関し、着順判定の唯一の責任者である。  
 フラインジ・ラインの手前側の線に垂直な面に自転車用の前輪の前端が到達した競技者は、競技を終了したと判定する。ただし、タイムトラアル系のレーンのフラインジにおいては、前輪タイヤが、フラインジ・ライン上の電子計時用スイッチに接触することにより判定し、よい。  
 写真判定機を使用する時、その判定に立ち会う。  
 ・判定写真を検査することができる者は、フラインジ・ジャッジ、コミセールのメンバーとする。  
 ロード・レーンの山岳地点等における通過順位を判定する。  
 タイム・キーパー(計時・時間管理)  
 競技のタイムを計測する。タイムによって成績を決定する競技は、1/1000秒まで計時しなければならない。  
 電気・電子計時を使用する場合は、その結果を確認する。  
 (J)手動計時については、以下の要領による。  
 手動計時の場合は、3人で計時することを原則とする。計時主任(3人のタイム・キーパーのうち一人が兼ねることができる)は3人の記入した計時用紙をまとめ、次の手順で正式時間を算出し、主任用計時記録用紙に記入する。  
 3人の計時結果が一致した場合はそれを正式時間とする。  
 2人の計時結果が一致した場合はそれを正式時間とする。  
 それぞれの計時結果が異なる場合には、3つの計時結果の2番目の値(B)を正式時間とする。  
 計測値-A B C  
 正式時間

4. 異なる色の旗を相互の通信手段として用いてよい、これらの旗の意味は下記のものとする:

4. 競技場

4. (1) トラック・コラック(旗)

トランプ・オレンジは、下記の色の旗を相互の通信手段として用いてよい、これらの旗の意味は下記のものとする:

- 競技者は、別個リザルトにおける順位と一致する賞金を授けられる。  
 - クラシイベントの組み合わせ例 エリート女子とジュニア女子:

レーン結果(順)	競技者のカテゴリ	UCI ランキング	UCI ランキング
(位)	ポイント・ジュニアポイント	ポイント・ジュニア	ポイント・ジュニア
1	ジュニア女子	30 点 (WU1 位)	
2	エリート女子	30 点 (WE1 位)	
3	ジュニア女子	30 点 (WU2 位)	
4	エリート女子	30 点 (WE2 位)	

7. 終了時の総計が最終結果を定義するポイントシステムを行う

3. 競技

(1) 競技

3. BMXレーンは3段階で構成される。モト、予選ラウンド(参加者数により1/32, 1/16, 1/8, 1/4 および 1/2決勝) および決勝。  
 モトは3ラウンドに細分され、その終了時に総合で最良の成績を取った競技者が予選ラウンドに進出する。  
 予選ラウンドはレーンの除外段階である。決勝から離れる度合いに応じて相互に区別される。いくつかの段階に細分される(参加者数により1/32, 1/16, 1/8, 1/4 および 1/2決勝)。  
 最終段階は決勝である。  
 9人未満の競技者が1つのカテゴリを構成している場合。  
 3回のモト終了時のスコア総計が最終結果を決定する。3回モト・ジュニアがある。  
 BMX 競技会の終了時に、最終結果を明確にし、UCI ランキングポイントと賞金を与えるため使われる最終順位が決定される。  
 競技の最終順位(結果表約)は次により決定される:  
 1. 到達した段階 (決勝, 1/2決勝, 1/4決勝, 1/8決勝, 1/16決勝, 1/32決勝, モト);  
 2. 到達段階での順位;  
 3. 到達段階での合計ポイント;  
 4. 最終走のタイム。同等の場合は、その前の走行タイムを考慮する。  
 タイムによって同等の場合は、それらの競技者は同順位とする。  
 複数クラスを統合した場合、この結果表約は2つのクラスの結果分析にカテゴリ毎の分割結果作成に使用される。  
 進出およびスコアリング  
 モトにおいてスタートはしたが、完走しなかった競技者は "Did Not Finish (DNF)" (フラインジ・ジュニア)として記録される。そのモトで出走した競技者の数に等しい得点を得る。この競技者は、進出資格を有する。  
 スタートしたが、コミセールの指示により最下位に降格された競技者は、「降格 (REL)」として記録される。モトにスタートしなかった競技者の順位を確定できる。この競技者は進出資格を有する。

4. 競技場

4. (1) トラック・コラック(旗)

トランプ・オレンジは、下記の色の旗を相互の通信手段として用いてよい、赤旗はトラック・コミセールの1人

<p>(7)</p>	<p>ければならない。 2 各競技者は個別にスタートし、競技者間のスタート間隔は少なくとも20秒なればならない。 3 最少3の計時ステージが競われなければならない。 各競技者の合計時間は最小限10分なればならない。 4 計時ステージのために、最小限2つの異なるコースが使われなければならない。予期できない例外的な状況(例えば天候)の下で、UCI コミセールは主催者に相談した後、ステージをキャンセルするか、それを総合順位から除外することができる。 5 中継ステージには特性上の制限がまったくない。競技者の頂上への移動は、機械的手段(スキークリフト、トラックなど)によってまたはペダルを踏むか、両方の混合によってよい。 6 適正なトレーニングはすべての計時ステージのために主催者によって提供されなければならない。</p>
<p>(8)</p>	<p><b>結果</b> 1 競技者の総合成績は、各競技者において、すべての計時ステージ時間を算出することによって算出される。 違反行為 1 競技者は常にスポーツマンらしい態度で行動しなればならず、いかなるより速い競技者も妨害することなく追い越しを許さなければならない。 2 チーフ・コミセールは、違反行為が2つの異なるチームのメンバーである少なくとも2人の競技者によって報告されたならば(例えば技術支援ゾーンの外で援助を受けた競技者、コースをシ</p>
<p>(9)</p>	<p>フライング・マーシャル 1 少数の特別な訓練をされたマーシャル、フライング・マーシャルまたはコミセールは、競技中にコース周辺の未公表地点に動くべきである。モーターバイク、ATV、MTBを使用できる。 医療サービス 1 主催者は適切な医療サービスを設定しなればならない。主催者は緊急連絡先詳細を各競技者に提供しなればならない。</p>
<p>(10)</p>	<p>第95条 (BMX規則) 1. 一般規則 (1) 参加者の年齢 17歳以上の競技者は、シーズン開始時、該当する年齢および性別グループにおいて、チャンピオンシップ、チャレンジまたはマスターズのいずれかのレベルで競技することを選択できる。競技者は同じシーズン中にはチャンピオンシップおよびチャレンジの両方レベルに参加することはできない。 (2) 統合規則 5 チャンピオンシップレベルの競技クラスはチャレンジとチャンピオンシップクラスは、UCI 登録レースにおいて下記を原則として競合できる: - 主催者はテクニカルガイドおよびその国内連盟および競技者への通信において、クラスの組み合わせを發表する。 - リザルトはリザルト要約に基づいた2つの別個のクラスに分割される。 - 競技者は、別個リザルトにおける順位と一致するランキングポイントを得る。</p>

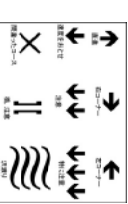
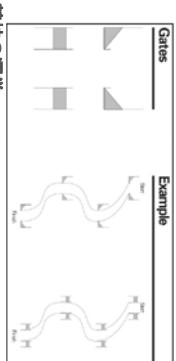
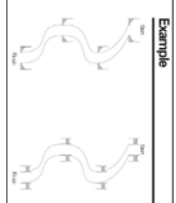
**第19章 BMX競技規則**

<p>第95条 (BMX規則) 1. 一般規則 (1) 参加者の年齢 17歳以上の競技者は、シーズン開始時、該当する年齢および性別グループにおいて、チャンピオンシップ、チャレンジまたはマスターズのいずれかのレベルで競技することを選択できる。競技者は同じシーズン中にはチャンピオンシップおよびチャレンジの両方レベルに参加することはできない。 (2) 統合規則 5 チャンピオンシップレベルの競技クラスはチャレンジとチャンピオンシップクラスは、UCI 登録レースにおいて下記を原則として競合できる: - 主催者はテクニカルガイドおよびその国内連盟および競技者への通信において、クラスの組み合わせを發表する。 - リザルトはリザルト要約に基づいた2つの別個のクラスに分割される。 - 競技者は、別個リザルトにおける順位と一致するランキングポイントを得る。</p>	<p>(BMX規則) 一般規則 参加者の年齢 17歳以上の競技者は、シーズン開始時、該当する年齢および性別グループにおいて、チャンピオンシップ、チャレンジまたはマスターズのいずれかのレベルで競技することを選択できる。競技者は同じシーズン中にはチャンピオンシップおよびチャレンジの両方レベルに参加することはできない。競技者ライセンスは競技者のカテゴリを示さなければならない。 統合規則 チャンピオンシップクラス相互あるいはチャレンジとチャンピオンシップクラスは、UCI 登録レースにおいて下記を原則として競合できる: - 主催者はテクニカルガイドおよびその国内連盟および競技者への通信において、クラスの組み合わせを發表する。 - リザルトはリザルト要約に基づいた2つの別個のクラスに分割される。 - 競技者は、別個リザルトにおける順位と一致するランキングポイントを得る。</p>
--	--

<p>5</p>	<p>管理する。この場合ピストル、ベル等によりレース終了を予告する。 各競技大会において、主催者の属する国内連盟は、必要な資格を国内連盟により与えられた十分な数のタイム・キーパーを配置する。タイム・キーパーは、正解の時以外の方法で、国内連盟により資格を与えられた者による助力を得ることができない。 タイム・キーパーは、計時したタイムを用紙に記録し、署名してフイニッシュ・ジャッジに手渡す。 アッシャー(招集) 4. ① 競技者を確認しスタートラインに誘導する。 ② 競技規則第8条~第14条に従い、競技者の裝備を確認する。 ③ 競技者を招集場所に集ませ、その後スタートラインに誘導する。 5. ① バイクインスペクター(自転車検査) ② 競技規則第16条、第17条、第20条、第27条に従い、競技者の自転車規則に定められている仕様に合致しているかを確認する。 ③ 競技規則第18条、第19条に従い、ペーサのオートバイが規則に定められている仕様に合致しているかを確認する。 ④ 機材ピット、ニュートラル・カーなどに準備される予備自転車についても管理する。 ⑤ 補給所、機材ピットが設定される場合には、競技中はそこに位置し、必要事項について管理する。 6. ラップ・カウンター(周回) ① 競技の周回を確認し、周回板で告知する。 ② ロード・レース等において飲食料の補給が許される周囲の開始と終了を告知する 7. ペル・リング(打鐘) ① IDチップ ② IDチップ ③ 競技場内において、IDカードの管理を行い無用の者を入り立たせない。 ④ コミセール・エリアには、関係者以外立ち入りさせないようにする。 ⑤ アピールがあった場合、その文書と共に供託金を受領し、チーム・コミセールに取り次ぐ。 ⑥ この任務は総務担当役員があたることができる。 ⑦ アナウンサー(通告) ⑧ 競技進行に必要な通告をする。 ⑨ 競技経過・競技結果を通告する。 ⑩ 競技者に指示を与える場合、必要があればスタータを補助する。 第59条 (トラック・レース競技担当役員の任務) トラック・レースにおける競技担当役員は、次の任務に努める。 1- アピールパネル すべての競技に立ちあがり、たえずコミセールと接軸を保持し、競技の細部を監視する。 2- チーフ・コミセール ① 規則に基づいたあらゆる決定をし、また、規則に規定していない事項についてもその解決を図るためのあらゆる権限を持つ。ただし、規則を修正する権限はない。 ② ライセンス・コントロールの責任者となる。</p>
----------	---

- ③各競技の開始前1-1周回転、各各種電気・電子装置、トランプ等の準備が整っているかを確認する。
- ④各コース、スタート、フィニッシュが所定の位置にある。
- ⑤各コース、スタート、フィニッシュが所定の位置に正しいかを確認する。
- ⑥コース、スタート、フィニッシュを補正し、その任務を分担する。他の任務との兼任を妨げない。
- ⑦オーストラリア、ドイツ、フランスのうちの1名を判定員に指名し、各競技から1名ずつ、判定員はこの任務を自身で行うことはできない。判定員はスタート、フィニッシュ、スタート、フィニッシュ、スタート、フィニッシュおよび速度競走において配置することを義務付ける。
- ⑧この判定員は、競技中の競技者の行為とその競技規則の遵守を専門に監視する。この問題において、判定員は単独で速やかにペナルティを科し、あるいは規則の下に必要な決定を行う。判定員は、自ら選択した他のコース、スタートまたは他の人員の助けを得ることができない。
- ⑨判定員は、トランプの外側のトランプ全体を見渡せる事が可能で隔離された場所に位置しなければならない。彼はオーストラリアと直接連絡できる手段を与えられなければならない。又中の出来事をスロ・再生することができる。オーストラリアも利用することができる。このシステムは、オーストラリアが非公開で同じ映像を見ることを
- 4. **レースのスタート**
  - ①競技大会に開くオーストラリア(指示事項) 競技成績、競技番組等を作成する。
  - ②競技大会終了時に、競技経過、競技結果の報告書を作成し、総務、競技両委員会の作成する事業報告書に収録する。
- 1. **スタート(出発合図・出発の判定)**
  - ①スタートはコースの中から選ばれる。
  - ②スタートはスタート種目においては、スタートとフィニッシュはトランプ内側の芝生の中央に隣り合って位置する。
  - ③スタートしてそれが正しく行われたと認められたなら、コースはスタートラインから人を退去させる。フィニッシュまたはタイムトライアル種目のコースとして1名だけがそこに留まることができる。コースはこのコースが軽率な応援身振りなどを一切しないように注意する。スタート、ケイリン、速度競走等のスタート位置の抽選を行う。
  - ④スタートライン・マシンの使用した場合には、その適否を確認する。
  - ⑤スタートの有効性を30m(種目により12周)以内に判定し、対応する。
  - ⑥ハンドイクヤップスにおけるスタート位置を競技者に示す。
  - ⑦フィニッシュ・マシンの(決勝審判)
  - ⑧スタートがその任務にあたる必要に応じて他の役員が援助を受けることができる。
  - ⑨フィニッシュに於いて、着順判定の唯一の責任者である。
  - ⑩フィニッシュラインの手前側の線に垂直な面に自転車

- スタート(出発合図・出発の判定)
- ①スタートはコースの中から選ばれる。
- ②スタートはスタート種目においては、スタートとフィニッシュはトランプ内側の芝生の中央に隣り合って位置する。
- ③スタートしてそれが正しく行われたと認められたなら、コースはスタートラインから人を退去させる。フィニッシュまたはタイムトライアル種目のコースとして1名だけがそこに留まることができる。コースはこのコースが軽率な応援身振りなどを一切しないように注意する。スタート、ケイリン、速度競走等のスタート位置の抽選を行う。
- ④スタートライン・マシンの使用した場合には、その適否を確認する。
- ⑤スタートの有効性を30m(種目により12周)以内に判定し、対応する。
- ⑥ハンドイクヤップスにおけるスタート位置を競技者に示す。
- ⑦フィニッシュ・マシンの(決勝審判)

- (2)
  - (3)
  - (4)
  - (5)
  - (6)
- ペナルティをふむ警報、または両方の混合を含むことができる。トランプは、競技者の楽しみ、技術、そして身体的な能力に重点を置かれなければならない。
- 5 他のいかなる方法も例外的な状況の下だけで容認され、UCIから事前認可を条件とする。
- 技術支援**
- 1 最多 1 の技術支援ゾーンが主催者によって提供されることができ、外部からの技術支援はこのエリア内でのみ許可される。
- 2 1 競技会中において、1つのグループ、1組の前後のサスペンションユニット(フック後部サクション)、および1組の車輪のみを1 競技者が使用することができる。グループ、サスペンションおよび車輪はレースのスタート前に役員によって個々に印を付けられ、フィニッシュにおいて検査される。破壊部品は、5分のペナルティを伴う承認により、交換することができる。
- 機材**
- 1 競技者は、競技中は常にヘルメットを着用していなければならない。非常時にラケニカルな地形においてまたは急勾配な山腹または非常に高濃な霧道を待機とするコースにおいて、競技者がフルフェイスヘルメットを着用しなければならない。UCIは、条項4.3.013中に規定することができ、競技者が防護物を身につけることを強く推奨する。
- コース図**
- 1 コース図は主催者によって作成され、最初のトレーニングセッションが始まる前にすべての競技者が利用可能とされなければならない。重いコースの場合、またはナビゲーションが難しい地形においては、コース図は競技者が機材可能とするべきである。
- コース標示**
- 1 エンデュロ・コースは、明確に矢印、ゲートおよび伝導的なコースマーカーの組み合わせを使って、示されていなければならない。
- 
- 2 コースが明確に示され、いかなるショートカットも可能でないことを確かめるために主催者によって特別な注意が払われなければならない。
- 3 コースマーカーによって示されているコースのセッションでは、トランプの両側がマークされなければならない。
- 4 容易に識別可能なゲートを、理解困難あるいは明確に示すことが困難なセッションに取り付けるべきである。ゲートはコースの重要なエリアに取り付けられるべきであり、チェックポイントとして一覽されるべきである。
- Gates**
- 
- Example**
- 
- 競技の運営**
- 1 主催者は、各計時マシンのスタート時刻を設定しな

<p>■ コース中の平坦または登坂箇所に設定する。スタートしてから最初に狭くなる場所は、競技者が相互に容易に通過できなければならない。</p>	<p>■ スタートラインの先、少なくとも100mは最小幅員 8 m その他の競技大会において、 ■ スタートラインの手前少なくとも50mは最小幅員 6 m ■ スタートラインの先、少なくとも100mは最小幅員 6 m すべての競技大会において、 ■ コース中の平坦または登坂箇所に設定する。 スタートしてから最初に狭くなる場所は、競技者が相互に容易に通過できなければならない。</p>
<p>(6) 技術支援 次の状態を条件としてレース中の技術支援は許可される。</p>	<p>技術支援 以下の状態を条件としてレース中の技術支援は許可される。 1. 許可される技術支援は、競技中のフレーム以外の自転車部品の修理および交換による。自転車そのものの交換は許されない。また、競技者はスタート時と同じナンバープレートを装着してフィニッシュしなければならない。 2. 技術支援は補給技術支援ゾーンにおいてのみ行うことができる。 3. 交換部品、修理工具類はゾーン内に置いておかなければならない。競技者は自ら、またはチームメイト、チームメカニシャンあるいは共通技術支援者の助力を得て修理または部品交換を行うことができる。インナー・チューブのような小部品や小工具補給技術支援ゾーンにおいて行うことができる。 4. 補給ゾーンでの技術支援に加え、技術支援は補給ゾーン外でも、同じチームのメンバーである競技者間であれば許される。 競技者は、競技者自身あるいは他の競技者に危険及びほすことがなければ工具、交換部品を持参することができる。</p>
<p>(3) 衣服と保護具 4. 予選ラウンドおよび決勝においてカメラは許可されない。競技者は、危険性を排除するためにカメラの確実な固定に責任がある。JCFは、TV製作会社の使用の場合にのみ、決勝中におけるカメラの使用許可を決定できる。</p>	<p>衣服と保護具 予選ラウンドおよび決勝においてカメラは許可されない。競技者は、危険性を排除するためにカメラの確実な固定に責任がある。JCFは、TV製作会社の使用の場合にのみ、決勝中におけるカメラの使用許可を決定できる。</p>
<p>(1) 競技の運営 1. 独走形式とする。次のいずれかの方法をとる。 ■ 特別競技規則に規定された予定数の競技者が決勝進出を認められる予選ラウンドと呼ばれる。予選走行方式、決勝において最速の競技者が勝者となる(ロードカップに用いられる方式)。 ■ シーディングラウンドにより独走の順番を決め、その最速の者が勝者となる方式。</p>	<p>ダウンヒル競技 競技の運営 集団スタート競技は以下より構成される。 ■ 予選ラウンド(予選通過人数はテクニカルガイド中にある予選者によって設定されなければならない)。この予選はまた、スタート順決定にも設立される。マラン・ダウンヒル(集団スタート・ダウンヒル)個々の主催者は、その大会のテクニカルガイドにおいて詳細情報を明確にしなければならない。 衣服と保護具 予選ラウンドおよび決勝においてカメラは許可されない。競技者は、危険性を排除するためにカメラの確実な固定に責任がある。JCFは、TV製作会社の使用の場合にのみ、決勝中におけるカメラの使用許可を決定できる。</p>
<p>(4) エンデュロ競技 レースの特徴 1 レースにはいくつかの中継ステーションと計時ステーションを含む。 2 すべての計時ステーションにおいて運成されたタイムは合計時間に集算される。 3 エンデュロコースは多様なオフロード地形から構成する。走行はオフロード路面の混合の上に、狭路、広幅員、低速と高速の細道と走破の混合を含むべきである。各計時ステーションは主として下降路でなければならないが、多少ペダダルを踏むか、登坂のセクションは容認できる。 4 中継ステーションは、構構式リフト(例えばスキーリフト)、</p>	<p>エンデュロ競技 レースの特徴 1 レースにはいくつかの中継ステーションと計時ステーションを含む。 2 すべての計時ステーションにおいて運成されたタイムは合計時間に集算される。 3 エンデュロコースは多様なオフロード地形から構成する。走行はオフロード路面の混合の上に、狭路、広幅員、低速と高速の細道と走破の混合を含むべきである。各計時ステーションは主として下降路でなければならないが、多少ペダダルを踏むか、登坂のセクションは容認できる。 4 中継ステーションは、構構式リフト(例えばスキーリフト)、</p>

<p>の前輪の前端が到達した競技者は、競技を終了したと判定する。ただしトラックレースのフィニッシュにおいて、前輪タイヤがフィニッシュライン上の電子計時用センサーに接触することにより判定してもよい。 ① 速度競走の先頭責任の判定にあたる。</p>	<p>ポイントレースの中間スプリント、エリミネーションレースにおける除外、速度競走の先頭責任の判定にあたる。</p>
<p>④ 写真判定機を使用する時、その判定に立ち合う。判定写真を検査することができる者は、フィニッシュラインのカメラマンとする。</p>	<p>写真判定機を使用する時、その判定に立ち合う。判定写真を検査することができる者は、フィニッシュラインのカメラマンとする。</p>
<p>⑤ 競技のタイムを計測する。タイムによって成績を決定する競技は、1400秒まで計時しなければならない。 ⑥ 電気電子計時を使用する場合は、その結果を確認する。 ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>	<p>タイムキーパ(計時・時間管理) ④ 競技のタイムを計測する。タイムによって成績を決定する競技は、1400秒まで計時しなければならない。 ⑥ 電気電子計時を使用する場合は、その結果を確認する。 ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>
<p>④ 各競技種目規則により、時間競走における競走時間を管理する。この場合ヒストリアル、バル等により競技終了を予告する。 ⑤ 各競技大会において、主催者の属する国内連盟は、必要な資格を国内連盟により与えられた十分な数のタイムキーパを配置する。タイムキーパは、正解の計時以外の方法で、国内連盟により資格を与えられた者による助成を得ることができる。 ⑥ タイムキーパは、計時したタイムを用紙に記録し、署名してフィニッシュラインに手渡す。 ホルダー(発走) スターティング・マシンを用いる場合にはホルダーが担当する。 ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>	<p>ホルダー(発走) スターティング・マシンを用いる場合にはホルダーが担当する。 ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>
<p>④ 各競技種目規則により、時間競走における競走時間を管理する。この場合ヒストリアル、バル等により競技終了を予告する。 ⑤ 各競技大会において、主催者の属する国内連盟は、必要な資格を国内連盟により与えられた十分な数のタイムキーパを配置する。タイムキーパは、正解の計時以外の方法で、国内連盟により資格を与えられた者による助成を得ることができる。 ⑥ タイムキーパは、計時したタイムを用紙に記録し、署名してフィニッシュラインに手渡す。 ホルダー(発走) スターティング・マシンを用いる場合にはホルダーが担当する。 ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>	<p>計測値 A B C 正式時間 ④ 各競技種目規則により、時間競走における競走時間を管理する。この場合ヒストリアル、バル等により競技終了を予告する。 ⑤ 各競技大会において、主催者の属する国内連盟は、必要な資格を国内連盟により与えられた十分な数のタイムキーパを配置する。タイムキーパは、正解の計時以外の方法で、国内連盟により資格を与えられた者による助成を得ることができる。 ⑥ タイムキーパは、計時したタイムを用紙に記録し、署名してフィニッシュラインに手渡す。 ホルダー(発走) スターティング・マシンを用いる場合にはホルダーが担当する。 ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>
<p>④ 各競技種目規則により、時間競走における競走時間を管理する。この場合ヒストリアル、バル等により競技終了を予告する。 ⑤ 各競技大会において、主催者の属する国内連盟は、必要な資格を国内連盟により与えられた十分な数のタイムキーパを配置する。タイムキーパは、正解の計時以外の方法で、国内連盟により資格を与えられた者による助成を得ることができる。 ⑥ タイムキーパは、計時したタイムを用紙に記録し、署名してフィニッシュラインに手渡す。 ホルダー(発走) スターティング・マシンを用いる場合にはホルダーが担当する。 ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>	<p>ホルダー(発走) スターティング・マシンを用いる場合にはホルダーが担当する。 ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>
<p>④ 各競技種目規則により、時間競走における競走時間を管理する。この場合ヒストリアル、バル等により競技終了を予告する。 ⑤ 各競技大会において、主催者の属する国内連盟は、必要な資格を国内連盟により与えられた十分な数のタイムキーパを配置する。タイムキーパは、正解の計時以外の方法で、国内連盟により資格を与えられた者による助成を得ることができる。 ⑥ タイムキーパは、計時したタイムを用紙に記録し、署名してフィニッシュラインに手渡す。 ホルダー(発走) スターティング・マシンを用いる場合にはホルダーが担当する。 ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>	<p>ホルダー(発走) スターティング・マシンを用いる場合にはホルダーが担当する。 ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>
<p>④ 各競技種目規則により、時間競走における競走時間を管理する。この場合ヒストリアル、バル等により競技終了を予告する。 ⑤ 各競技大会において、主催者の属する国内連盟は、必要な資格を国内連盟により与えられた十分な数のタイムキーパを配置する。タイムキーパは、正解の計時以外の方法で、国内連盟により資格を与えられた者による助成を得ることができる。 ⑥ タイムキーパは、計時したタイムを用紙に記録し、署名してフィニッシュラインに手渡す。 ホルダー(発走) スターティング・マシンを用いる場合にはホルダーが担当する。 ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>	<p>④ 各競技種目規則により、時間競走における競走時間を管理する。この場合ヒストリアル、バル等により競技終了を予告する。 ⑤ 各競技大会において、主催者の属する国内連盟は、必要な資格を国内連盟により与えられた十分な数のタイムキーパを配置する。タイムキーパは、正解の計時以外の方法で、国内連盟により資格を与えられた者による助成を得ることができる。 ⑥ タイムキーパは、計時したタイムを用紙に記録し、署名してフィニッシュラインに手渡す。 ホルダー(発走) スターティング・マシンを用いる場合にはホルダーが担当する。 ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>

<p>②ボイストレーナー等の仕事についても確認する。 ③ラッシュカード(周回) 競技の周回を確認し、周回板を告知する。 ヘルムンガー(打鐘) ⑤ボイストレーナー(打鐘) ①ボイストレーナーにおいては、ポイント周回を告知する。 ④ヘルムンガー ①競技場内において、ラッシュカードの管理を行い無用の者を立ち入らせない。 ②ボイストレーナーには、関係者以外立ち入らせないようにする。 ③ラッシュカードがあった場合、その文書と共に供託金を受領し、ラッシュカードを取り次ぐ。 ④その任務は総務担当役員が果たすることもできる。 ラッシュカード(通告) ①競技結果を通告する。 ②競技者に指示を与える場合、必要があればラッシュカードを補佐する。</p>	<p>ヘルムンガー(打鐘) ポイント周回、除外周等を告知する。</p>
<p>第60条 (ロード・レース競技担当役員の任務) ロード・レースにおける競技担当役員は、次の任務にあたる。 1 ラッシュカード 審判車およびその他の随行車両、ラッシュカード地点を分担し、競技の細部を監視する。 2 ラッシュカード ①規則に基づいたあらゆる決定をし、また、規則に規定していない事項については、その解決を図るためのあらゆる権限を持つ。ただし、規則を修正する権限はない。 ②ラッシュカードの責任者となる。 ③通常はラッシュカードの任務も併せて務める。 ④審判車No.4に乗り、競技の進行について監督管理する。必要に応じてラッシュカード車を設定する。 ⑤ロード・レース、ボイストレーナー、警備、安全施設等が、全行程にわたって設置されていることを確認するが、自らの責任において確認させる。 ⑥各競技担当役員が所定の配置につき、各車両、機材の準備が整っているか確認するか、自らの責任において確認させる。 3 ボイストレーナー・ヘルムンガー ①審判車No.2に乗り、競技者集団より先行して、審判車No.4と連絡を取りつつ競走を監察する。 ②審判車No.3に乗り、主に後方の集団を監察する。</p>	<p>(ロード・レース競技担当役員の任務) ロード・レースにおける競技担当役員は、次の任務も行う。 ①ロード・レースにおける競技担当役員は、ロード・レースに特有な次の任務も行う。 ロード・レースの安全な運営のために、ロード・レースの先導、競技者の保護、危険の告知等を分担し、あるいは交代しつづ担当する。</p>

<p>2 クロスカントリー競技 (1) クロスの特性 クロスカントリー・オリンピック - XCO オリビッド形式のクロスカントリー競技用のサキキット ① 身長は、4mから6.4mの間とする。標準的なクロス鞍 鞍として、クロムパールの葉の形状の会場利用が理想的 である。 クロスには、フライング・ジャンプまでの残距離を示す距離 標示を1kmごとに記さなければならない。 ② クロスカントリー・マラソン - XCM 1 マラソン(サウスイング・マラソン) 60 km 大陸選手権大会 80 km 世界選手権大会 90 km 最長距離は120kmとする。 上記の距離は男子カテゴリーを対象とする。女子において、 距離を適宜短縮するが、マラソン競技の最長距離を ある60kmは尊重する。 クロスには、レース残距離を示す距離標示を10kmごと に記さなければならない。 レースは1周回、あるいは3周回を限度とする複数周回 で行うことができる。 1周回による競技の場合、コースには、競技者が2度通 過する箇所を含んではならない。スタートおよびフィニッ シュ・ジャンプのみ、同一場所に位置してよい。 複数周回競技の場合、女子レースのための周回中のジ ョートカットは認められない。 ③ クロスカントリー・ポイントトゥポイント - XCP 1 クロスカントリー・ポイントトゥポイント用のコース長は、 25kmから60kmの間とする。 この競技は1つの場所ですタートし、他の場所でフィニッ シュするものとする。 XCP競技は、多くはマラソン(XCS)中に行われ る。 ④ クロスカントリー・ジョートサキキットまたはクリマリウ ム - XCC ⑤ クロスカントリー・タイムトライアル - XCT 1 クロスカントリータイムトライアル用のコース周長は、4 kmから26kmの間とする。 クロスカントリータイムトライアル競技は、マラソン・ジ ム(XCS)中のみで行われる。 ⑥ クロスカントリー・ワールドカップ オリビッド形式のレース、世界選手権大会、ワールドカッ プ、大陸選手権大会およびオーストラリア大会におけるオリ ビッド形式のレースにおいては、コースは、横断帯な どにより標示され、コースの全長に渡り防護されなけれ ばならない。 世界選手権大会、ワールドカップ、大陸選手権大会にお き、タイムトライアルにおけるマラソン形式のレース、にお いてコースは問題なくコースをたどれるように十分に標 示されなければならない。 スタートおよびフィニッシュ・ジャンプ ④ クロスカントリー競技(集団スタート競技)のスタート・ジ ョートは: ■ スタート・ジャンプの手前少なくとも50mは最小幅員 8 m ■ スタート・ジャンプの手前少なくとも100mは最小幅員 8 m</p>	<p>① 他の全ての人はコースに入らないように保たれな ければならない。 クロスカントリー競技 レースの特性 クロスカントリー・オリンピック - XCO オリビッド形式のクロスカントリー競技用のコースは理 想的に、観客とすべてのテレビ報道のために良好な視界 を助長するように、クローバー型交差点やサインの魅力 のないレイアウトを使うべきである。両側の補給技術 支援ジャンプが強く推奨される。 クロスには、フライング・ジャンプまでの残距離を示す距 離標示を1kmごとに記さなければならない。 クロスカントリー・マラソン - XCM クロスには、レース残距離を示す距離標示を10kmごと に記さなければならない。 レースは1周回、あるいは3周回を限度とする複数周回 で行うことができる。 1周回による競技の場合、コースには、競技者が2度通 過する箇所を含んではならない。スタートおよびフィニッ シュ・ジャンプのみ、同一場所に位置してよい。 複数周回競技の場合、女子レースのための周回中のジ ョートカットは認められない。</p>
--	---

度で走行しなければならぬ、事故時の集団において競技者の位置が前方か後方かは考慮されない。

競技再開は黄旗の降参とピストルの発砲による。この時点で競技に復帰できなかった競技者は除外され、彼らの除外時のタイムにより順位が決定される。続く周回で鳴らされるベルによりスプリント周回の開始が示される。トラック上の全競技者が事故に遭った場合を除き、ひとたび競技者が4名以下になったならばニュートリゼーションは与えられず、完走しなかった競技者は除外されたタイムにより順位づけられる。

**第16章 ロード・レース規則**

- 第84条 (ロード・レース)
5. (競技者の順守義務)
- (5) 競技者はレース前にサイン・キップを調べておかなければならない。競技中に警察官等から指示があったとしても、指示されたコースから離れてはならないし、たとえ間違った方向を指示されたり、標識等の不備によって間違った方向に行ったとしても不服をのべることはできない。競技者が近道をとって利益を得た場合、その競技者は、付表3のペナルティ表に従い罰則を適用される。
- (6)
8. (随行車両)
- (2) タイムトライアルを除き、レースに随行するすべての車両は、最大車高を4.60mに制限される。
- (3)

- 第85条 (ワンドイ・ロード・レース)
16. (飲食料の補給)
- 補給は、登坂区間、降坂区間、始めの50km、フィニッシュ前20kmには設定しない。補給開始地点の50kmといふ距離は、天候条件およびレースのカテゴリ、種類、距離により、コミセールはその場所を変更できる。この決定は、レースのスタート前に関係する団体に伝達しなければならぬ。
- 第88条 (ステージ・レース)
23. (結果の報告)
- 競技結果を確定する前に競技者が失格となった場合、個人順位は調整されなければならない。
- 競技結果を確定した後に競技者が失格となった場合は、上位3位までは、個人総合順位は調整しなければならない。第4位は空位とする。

**第17章 マウンテンバイク規則**

- 第92条 (マウンテンバイク規則)
1. 総則
- (1) 年齢カテゴリと参加
- (8A) エンデュロ競技は17歳以上のすべての競技者が参加できる。ジュニア、U23、エリート・カテゴリのための別個のリーグは発行されない。
- (4) 競技大会手順
- 安全
1. コースは競技および公式トレーニング期間中のみ競技者が走行できる。他の全ての人はコースに入らないうちに保たなければならない。

3. ニュートラルカー・コミセール(機材車担当審判員)

① ニュートラルカーNo.1に乗り、先行する集団を担当し、機材交換等を監督管理する。その他のニュートラルカーに乗り手は、競走の展開に応じ、チーム・コミセールまたはレース・ディレクターの指示により監督管理する。

② コミセールがこの任務にあたる必要に応じて他の役員の援助を受けることができる。

④ フライツェル・ライエの手前側の線に垂直な面に自転車競技の補給が到達した競技者は、競技を終了したと判断する。ただし、ロードタイムトライアル・レースのスタートにおいて、前輪タイヤがフライツェル・ライエ上の電子計時用スイッチに接触することにより判定してよい。

⑤ フライツェルの4km前からフライツェル・ライエに至る範囲を担当する。

④ 写真判定機を使用する時、その判定に立ち合う判定写真を撮査することのできる者は、フライツェル・ジャンプ・コミセールのメンバー、アドバイザー、ペナルティ・メンバとする。

⑤ 山岳賞地点等における通過順位を判定する。

ア) 出走の最終確認をする。

② 競技規則第9条 第14条に従い、競技者の装備を確認する。

③ 競技者を召集ゲートに集合させ、その後スタート・ライエに誘導する。

パイオニア・スタタ(自転車検査)

④ 競技規則第16条、第20条、第28条第1項に従い、競技者の自転車に規則に定められている仕様を合致しているかを確認する。

⑤ 競技規則第10条に従い、そのオ・パイが規則に定められている仕様を合致しているかを確認する。

③ 機材ピット・ニュートラルカーに準備される準備自転車についても管理する。

④ 補給所、機材ピットが設定される場合には、競技中はそこに位置し、必要事項について管理する。

スタター・タ(出参会)

競技のスタター・タはコミセールの承認を受けたものでなければならぬ。スタター・タはコミセールの中から選任することもできる。

① スタター・タは参加全競技者が、召集されているか否かを自身で確認するか、自己の責任において他の者に確認させる。

② 有効なスタターが行われるよう務める。

③ ビストル、笛、またはベルによりスタターを合図する。

④ 名譽スタターを起用することができる。

ラップ・カウンタ(周回)

④ 競技の周回を確認し、周回板で告知する。

④ 競技者の補給が許される周回の開始と終了を告知する。

ベル・リング(打鐘)

ベルにより競技の最終周回の開始を予告する。

IDチップ

④ 競技会場において、IDカードの管理を行ない無用の者を立ち入らせない。

<p>第61条 (タイムトライアル・ロード・レース競技担当役員の任務) タイムトライアル・ロード・レースにおける競技担当役員は、次の任務にあたる。</p>	<p>② 競技経過と競技結果を通告する。</p> <p>1. スタート・レース 必要な場所に位置し、競技の細部を監視する。必要があれば審判車を使用して移動する。</p> <p>2. チーム・カー ① 規則に基づいたあらゆる決定をし、また、規則に規定していない事項についてもその解決を図るためのあらゆる権限を持つ。ただし、規則を修正する権限はない。</p> <p>② ライセンス・コントローラーの責任者となる。</p> <p>③ 競技の進行について監督管理する。</p> <p>④ 必要があれば審判車を使用して監察する。</p> <p>⑤ コミセ・ル・カー・コンテナー ① トラックを監察する。</p> <p>② 折返し点を監察する。</p> <p>4. レースセクタリ ① 競技大会に開するオビエのコミュニケーション(指示事項、競技成績、スタートリヤ等)を作成する。</p> <p>② 折返し点ごとの通過タイムを掲載する。</p> <p>③ 競技中の失格者、棄権者を記録する。</p> <p>④ 競技大会終了時に、競技経過、競技結果の報告書を作成し、総務、競技両委員会の作成する事業報告書に収録する。</p> <p>5. スタータ(出発合図・出発の判定) ① スタートはコミセ・ルの中から選任する。</p> <p>② そのレースに出発する競技者が招集されているかを、自身で確認するか、自己の責任において他の者に確認させる。</p> <p>③ 有効なスタートが行われるよう務める。</p> <p>④ 旗、旗、またはベル等によりスタートを合図する。</p> <p>⑤ スタータのみが、スタートの有効性を判定できる。</p> <p>⑥ トラック秒数を計時、記録する。</p> <p>⑦ 各選手スタートを起用する必要がある。</p> <p>タイム・キーパー(計時・時間管理) ① 10分の1秒まで計時する。</p> <p>② フォニッシュ地点で複数の人員で計時する。また、各折返し地点でも計時する。</p> <p>2. ホルター(発走) ① 始めから終りまで、1組のホルターが担当する。</p> <p>② スタート・ライオンにおいて、競技者を横1列に並べ保持する。</p> <p>③ スタートは、押さずに手を離すだけで行い、</p> <p>タイム・キーパー(計時・時間管理) ① 10分の1秒まで計時する。</p> <p>② フォニッシュ地点で複数の人員で計時する。また、各折返し地点でも計時する。</p> <p>ホルター(発走) ① 始めから終りまで、1組のホルターが担当する。</p> <p>② スタート・ライオンにおいて、競技者を横1列に並べ保持する。</p> <p>③ スタートは、押さずに手を離すだけで行い、</p>
---	---

<p>タイムトライアル・ロード・レース競技担当役員の任務) タイムトライアル・ロード・レースにおける競技担当役員は、次の任務にあたる。</p>	<p>② 競技経過と競技結果を通告する。</p> <p>1. スタート・レース 必要な場所に位置し、競技の細部を監視する。必要があれば審判車を使用して移動する。</p> <p>2. チーム・カー ① 規則に基づいたあらゆる決定をし、また、規則に規定していない事項についてもその解決を図るためのあらゆる権限を持つ。ただし、規則を修正する権限はない。</p> <p>② ライセンス・コントローラーの責任者となる。</p> <p>③ 競技の進行について監督管理する。</p> <p>④ 必要があれば審判車を使用して監察する。</p> <p>⑤ コミセ・ル・カー・コンテナー ① トラックを監察する。</p> <p>② 折返し点を監察する。</p> <p>4. レースセクタリ ① 競技大会に開するオビエのコミュニケーション(指示事項、競技成績、スタートリヤ等)を作成する。</p> <p>② 折返し点ごとの通過タイムを掲載する。</p> <p>③ 競技中の失格者、棄権者を記録する。</p> <p>④ 競技大会終了時に、競技経過、競技結果の報告書を作成し、総務、競技両委員会の作成する事業報告書に収録する。</p> <p>5. スタータ(出発合図・出発の判定) ① スタートはコミセ・ルの中から選任する。</p> <p>② そのレースに出発する競技者が招集されているかを、自身で確認するか、自己の責任において他の者に確認させる。</p> <p>③ 有効なスタートが行われるよう務める。</p> <p>④ 旗、旗、またはベル等によりスタートを合図する。</p> <p>⑤ スタータのみが、スタートの有効性を判定できる。</p> <p>⑥ トラック秒数を計時、記録する。</p> <p>⑦ 各選手スタートを起用する必要がある。</p> <p>タイム・キーパー(計時・時間管理) ① 10分の1秒まで計時する。</p> <p>② フォニッシュ地点で複数の人員で計時する。また、各折返し地点でも計時する。</p> <p>ホルター(発走) ① 始めから終りまで、1組のホルターが担当する。</p> <p>② スタート・ライオンにおいて、競技者を横1列に並べ保持する。</p> <p>③ スタートは、押さずに手を離すだけで行い、</p>
---	---

<p>タイムトライアル・ロード・レース競技担当役員の任務) タイムトライアル・ロード・レースにおける競技担当役員は、次の任務にあたる。</p>	<p>② 競技経過と競技結果を通告する。</p> <p>1. スタート・レース 必要な場所に位置し、競技の細部を監視する。必要があれば審判車を使用して移動する。</p> <p>2. チーム・カー ① 規則に基づいたあらゆる決定をし、また、規則に規定していない事項についてもその解決を図るためのあらゆる権限を持つ。ただし、規則を修正する権限はない。</p> <p>② ライセンス・コントローラーの責任者となる。</p> <p>③ 競技の進行について監督管理する。</p> <p>④ 必要があれば審判車を使用して監察する。</p> <p>⑤ コミセ・ル・カー・コンテナー ① トラックを監察する。</p> <p>② 折返し点を監察する。</p> <p>4. レースセクタリ ① 競技大会に開するオビエのコミュニケーション(指示事項、競技成績、スタートリヤ等)を作成する。</p> <p>② 折返し点ごとの通過タイムを掲載する。</p> <p>③ 競技中の失格者、棄権者を記録する。</p> <p>④ 競技大会終了時に、競技経過、競技結果の報告書を作成し、総務、競技両委員会の作成する事業報告書に収録する。</p> <p>5. スタータ(出発合図・出発の判定) ① スタートはコミセ・ルの中から選任する。</p> <p>② そのレースに出発する競技者が招集されているかを、自身で確認するか、自己の責任において他の者に確認させる。</p> <p>③ 有効なスタートが行われるよう務める。</p> <p>④ 旗、旗、またはベル等によりスタートを合図する。</p> <p>⑤ スタータのみが、スタートの有効性を判定できる。</p> <p>⑥ トラック秒数を計時、記録する。</p> <p>⑦ 各選手スタートを起用する必要がある。</p> <p>タイム・キーパー(計時・時間管理) ① 10分の1秒まで計時する。</p> <p>② フォニッシュ地点で複数の人員で計時する。また、各折返し地点でも計時する。</p> <p>ホルター(発走) ① 始めから終りまで、1組のホルターが担当する。</p> <p>② スタート・ライオンにおいて、競技者を横1列に並べ保持する。</p> <p>③ スタートは、押さずに手を離すだけで行い、</p>
---	---

**第14章 トラック・レース規則**

<p>第77条 (エリミネーション・レース) 8. 複数の競技者が事故に遭った場合、そのときに適用される同種位とされる。</p> <p>一人または複数の競技者が認められる事故に遭った場合、チーム・コンテナーの決定により直ちに、影響を受けた競技者が集団に復帰できるよう、最長で1300mに近い回数、ニュートラク・レース・セッションが与えられる。すべてのトラック上の競技者が認められる事故に遭った場合、影響を受けた競技者が競技に復帰できるよう、最長3分間のニュートラク・セッションが与えられる。</p> <p>ニュートラク・セッションはスタート・ライオンにおける黄旗で示され、トラック上の全競技者は緊密な集団で適度の速</p>	<p>(エリミネーション・レース) 一人または複数の競技者が認められる事故に遭った場合、チーム・コンテナーの決定により直ちに、影響を受けた競技者が集団に復帰できるよう、最長で1300mに近い回数、ニュートラク・レース・セッションが与えられる。すべてのトラック上の競技者が認められる事故に遭った場合、影響を受けた競技者が競技に復帰できるよう、最長3分間のニュートラク・セッションはスタート・ライオンにおける黄旗で示され、トラック上の全競技者は緊密な集団で適度の速度で走行しなければならない。事故時の集団において競技者の位置が前方か後方かは考慮されない。</p>
---	---

**第14章 トラック・レース規則**

<p>第77条 (エリミネーション・レース) 8. 複数の競技者が事故に遭った場合、そのときに適用される同種位とされる。</p> <p>一人または複数の競技者が認められる事故に遭った場合、チーム・コンテナーの決定により直ちに、影響を受けた競技者が集団に復帰できるよう、最長で1300mに近い回数、ニュートラク・レース・セッションが与えられる。すべてのトラック上の競技者が認められる事故に遭った場合、影響を受けた競技者が競技に復帰できるよう、最長3分間のニュートラク・セッションが与えられる。</p> <p>ニュートラク・セッションはスタート・ライオンにおける黄旗で示され、トラック上の全競技者は緊密な集団で適度の速</p>	<p>(エリミネーション・レース) 一人または複数の競技者が認められる事故に遭った場合、チーム・コンテナーの決定により直ちに、影響を受けた競技者が集団に復帰できるよう、最長で1300mに近い回数、ニュートラク・レース・セッションが与えられる。すべてのトラック上の競技者が認められる事故に遭った場合、影響を受けた競技者が競技に復帰できるよう、最長3分間のニュートラク・セッションはスタート・ライオンにおける黄旗で示され、トラック上の全競技者は緊密な集団で適度の速度で走行しなければならない。事故時の集団において競技者の位置が前方か後方かは考慮されない。</p>
---	---



# 2014年UCIシクロクロス世界選手権大会

竹之内はトップから5分54秒でフィニッシュ。



## <ジュニア>

朝方の雨でコース全体がウエットコンディションとなった。各選手とも、レース前の試走で機材の再セッティングをおこない本番にそなえた。

スタート後のストレートで落車が発生。集団前方での落車だったため、日本選手も影響を受けた。中井は遅れを取り戻す走り一時20位台まで順位をあげた。非常に集中した走りが出ていたが、後半少し順位を落としてしまいトップから4分17秒遅れの34位でのゴールとなった。良いスピードを持っているだけに、最初の出遅れが惜まれる。

竹内は序盤から出遅れてしまい、なかなか順位を上げることができなかった。しかし集中力を切らすことなく走り切り、8分31秒遅れの48位

でゴール。後半は何とか踏ん張り、トップから7分3秒遅れの36位でゴール。

## <アンダー-23>

朝から晴天にめぐまれたが、昨日からのウエットコンディは大きく変わらず2日目を迎えた。

横山はスタートの混乱をうまく切り抜けたが、序盤から順位を落としてしまい集団後方でのレースとなった。ハイスピードのレース展開になったため、持ち前のテクニックを生かせずに-1LAPでレースを終えた。

沢田はチェーン外れの復帰に手こずってしまい後方からの追い上げとなったが、後半順位を落としてしまい-1LAPとなった。

## <エリート>

竹之内は後方からのスタートとなっ

たが、周回ごとに順位を上げることができた。持ち前のパワーとテクニックを果敢なく発揮し、トップから5分54秒遅れの37位でゴール。

小坂は中盤まで竹之内とほぼ一緒の位置で走ることができたが、後半ミスが目立ち順位を落とす結果となり-2LAPでレースを終えた。

(澤田 雄一)

## 【競技結果】

2014年UCIシクロクロス世界選手権大会  
(2014/2/1-2 オランダ・フーゲンハイド)

### 男子U19 (26.944km)

1	STYBAR Zdenek	CZE	1:05:29
2	NYS Sven	BEL	+0:12
3	PAUWELS Kevin	BEL	+0:40
37	竹之内 悠	京都 COLBA	+5:54
51	小坂 光	長野 宇都宮ブリッツェン	-2laps

### 男子U23 (20.268km)

1	VAN AERT Wout	BEL	49:35
2	VANTHOURENHOUT Michael	BEL	+0:50
3	VAN DER POEL Mathieu	NED	+1:17
46	沢田 時	滋賀 ブリヂストンアンカー	-1lap
49	横山 航太	長野 篠ノ井高校	-1lap

### 男子ジュニア (16.93km)

1	AERTS Thijs	BEL	45:55
2	PEETERS Yannick	BEL	+0:10
3	SCHUERMANS Jelle	BEL	+0:12
34	中井 唯晶	滋賀 瀬田工業高校	+4:17
48	竹内 遼	長野 Pro Ride	+8:31

### 女子 (13.592km)

1	VOS Marianne	NED	39:25
2	LECHNER Eva	ITA	+1:07
3	WYMAN Helen	GBR	+1:17
36	豊岡 英子	大阪 パナシクリス	+7:03

新しい翼で、世界の空へ。



**JAPAN AIRLINES**

### 2014年香港インターナショナルトラックカップ 日本代表選手団

大会名 2014年香港インターナショナルトラックカップ  
開催場所 ホンコン・チャイナ  
大会期間 2014年1月10日～12日  
派遣期間 2014年1月8日～13日  
代表選手団

監督 中田 将次 (JCF強化コーチ)  
コーチ 佐藤 孝之 (JCFジュニア強化育成部会員)  
メカニック 山脇 靖宏 (JCFジュニア強化育成部会員)  
選手 窪木 一茂 (和歌山・和歌山県庁)  
倉林 巧和 (群馬・日本体育大学)  
原田 裕成 (岡山・鹿屋体育大学)  
伊藤 和輝 (東京・早稲田大学)  
近谷 涼 (富山・日本大学)  
小島 蓉子 (千葉・日本体育大学)

### 欧州ロード強化合宿遠征 派遣選手団

開催場所 フランス  
派遣期間 2014年3月4日～25日  
スタッフ 浅田 颯 (JCFロード競技部会員)  
選手 徳田 鍛造 (鹿児島・鹿屋体育大学)  
面手 利輝 (神奈川・EQA U23)  
清水 太己 (東京・EQA U23)  
横山 航太 (長野・篠ノ井高等学校)  
岡 篤志 (茨城・茨城県立筑波高等学校)  
広瀬 樹 (神奈川・中央大学)  
内野 直也 (埼玉・EQA U23)

### BIWASE CUP 2014 日本代表選手団

大会名 BIWASE CUP 2014  
開催場所 ベトナム (ホーチミン周辺コース)  
開催期間 2014年3月7日～14日  
派遣期間 2014年3月5日～15日  
代表選手団  
監督 柿木 孝之 (JCFロード競技部会員)  
メカニック 中村 仁 (JCF強化支援スタッフ)  
選手 西 加南子 (千葉・LUMINARIA)  
豊岡 英子 (大阪・パナソニックレディース)  
金子 広美 (三重・イナメ・アイランド信濃山形)  
合田祐美子 (岡山・早稲田大学)  
坂口 聖香 (兵庫・パナソニックレディース)

### 2013～2014UCIトラックワールドカップ第3戦 日本代表選手団

大会名 2013-2014UCIトラックワールドカップ第3戦  
開催場所 メキシコ・グアタハラ  
大会期間 2014年1月17日～19日  
派遣期間 2014年1月13日～21日  
代表選手団

監督 松本 整 (JCFナショナルチーム総監督)  
コーチ 坂本 勉 (ナショナルコーチ)  
飯島 誠 (JCF選手強化コーチ)  
村田 正洋 (アシスタントナショナルコーチ)  
ドクター 小林 裕幸 (JCFチームドクター)  
メカニック 森 昭雄 (選手強化スタッフ)  
マッサージ 柳 浩史 (選手強化スタッフ)  
選手 中川誠一郎 (JPCA・JPCU熊本) ※ CCT  
渡邊 一成 (JPCA・JPCU福島) ※ CCT  
河端 朋之 (JPCA・JPCU岡山) ※ CCT  
脇本 雄太 (JPCA・JPCU福井)  
橋本 英也 (岐阜・鹿屋体育大学)  
石井 寛子 (JPCA・JPCU東京) ※ CCT  
前田佳代乃 (京都) ※ CCT  
塚越さくら (鹿児島・鹿屋体育大学)  
※ CCTはシクロチャンネル東京チーム

### 2014年ツール・ド・台湾 日本代表選手団

大会名 2014年ツール・ド・台湾 (UCI-ME2.1)  
開催場所 台湾・高雄～台北  
開催期間 2013年3月9日～13日  
派遣期間 2013年3月7日～14日  
代表選手団  
監督 高橋 松吉 (JCF強化コーチ)  
メカニック 鬼原 積 (JCF強化支援スタッフ)  
マッサージ 石田 宗男 (JCF強化支援スタッフ)  
選手 宮澤 崇史 (JPCA・VINI FANTINI NIPPO DE ROSA)  
中島 康晴 (福井・愛三工業レーシング)  
内間 康平 (沖縄・ブリヂストンアンカー)  
中根 英登 (愛知・愛三工業レーシング)  
黒枝 士揮 (大分・VINI FANTINI NIPPO DE ROSA)

### 2014年UCIシクロクロス世界選手権大会 日本代表選手団

大会名 2014年UCIシクロクロス世界選手権大会  
開催場所 オランダ・フーゲンハイド  
大会期間 2014年2月1日～2日  
派遣期間 2014年1月23日～2月4日  
代表選手

選手 **リト男子** 竹之内 悠 (京都・COLBA-Superano HAM)  
小坂 光 (長野・宇都宮ブリッツェンシクロクロスチーム)  
**リト女子** 豊岡 英子 (大阪・パナソニックレディース)  
**U23男子** 横山 航太 (長野・篠ノ井高校)  
沢田 時 (滋賀・ブリヂストンアンカーサイクリングチーム)  
**ジュニア男子** 中井 唯晶 (滋賀・瀬田工業高校)  
竹内 遼 (長野・TEAM Pro Ride)

# 競技大会結果

大会名、チーム名等については略して記載

## 2014年香港インターナショナルトラックカップ (2014/1/10-12 紅コン・チャイ)

### 男子1000mタイムトライアル

1	IM Jaeyeon	KOR	1:05.508
2	ABELS Ben	AUS	1:06.304
3	DAUD Mohd Fakhruddin	MAS	1:06.755
6	近谷 涼	富山 日本大学	1:07.296
11	伊藤 和輝	東京 早稲田大	1:09.337

### 男子1000mチームタイムトライアル

1	香港	HKG	4:12.093
2	日本	近谷・倉林・窪木・原田	4:17.501
3	Euijeongbu City	KOR	4:18.892

### 男子1000m個人タイムトライアル

1	CHEUNG King Lok	KHG	追抜勝
2	FENG Chun Kai	TPE	OVT
3	IM Jaeyeon	KOR	4:39.850
4	近谷 涼	富山 日本大学	4:41.506
7	伊藤 和輝	東京 早稲田大	4:48.993

### 男子1000mスクラッチ (15km)

1	KWOK Ho Ting	HKG	
2	倉林 巧和	群馬 日本体育大学	
3	HALL Stephen	AUS	
7	原田 裕成	岡山 鹿屋体育大学	

### 男子1000mポイントレース (30km)

1	CHEUNG King Lok	KHG	85p
2	HALL Stephen	AUS	61p
3	TUYCHIEV Vladimir	UZB	55p
7	倉林 巧和	群馬 日本体育大学	24p
8	原田 裕成	岡山 鹿屋体育大学	4p

### 男子1000mタイムトライアル

1	LIU Hao	CHN	13p
2	LEUNG Chun Wing	HKG	22p
3	HALL Stephen	AUS	22p
4	窪木 一茂	和歌山 和歌山県庁	26p

(FL:7, PR:4, EL:2, IP:4, SH:3, TT:6)

### 女子1000mタイムトライアル

1	LUO Xiaoming	CHN	13p
2	HSIAO Mei Yu	TPE	15p
3	DIAO Xiao Juan	HKS	18p
6	小島 蓉子	千葉 日本体育大学	26p

(FL:6, PR:7, EL:6, IP:6, SH:1, TT:5)

## 2013-14 UCIトラックワールドカップ 第3戦 (2014/1/17-19 ヌキシ・クアアライ)

### 男子スプリント

1	HAAK Hugo	NED	
2	NIEDERLAG Max	GER	
3	WEBSTER Sam	NZL	
18	中川誠一郎	JPCA JPCU 熊本	
23	河端 朋之	JPCA JPCU 岡山	

### 男子1kmタイムトライアル

1	SUNDERLAND Scott	AUS	59.675
2	MAKSEL Krzysztof	POL	59.820
3	HAAK Hugo	NED	59.976

13 中川誠一郎 JPCA JPCU 熊本 1:01.898

### 男子ケイリン

1	BUCHLI Matthijs	NED	
2	RAMIREZ Santiago	COL	
3	OLIVA Lewis Alexander	GBR	
17	脇本 雄太	JPCA JPCU 福井	
21	渡邊 一成	JPCA JPCU 福島	

### 男子チームタイムトライアル

1	MCMANUS Tirian	AUS	26p
2	DE BUYST Jasper	BEL	27p
3	BOUDAT Thomas	FRA	30p
8	橋本 英也	岐阜 鹿屋体育大学	49p

(FL:9, PR:3, EL:13, IP:11, SH:2, TT:11)

### 男子チームスプリント

1	オランダ	43.311
2	ドイツ	43.465
3	イギリス	43.854
8	日本 (CCT) 河端・渡邊・中川	44.153

### 女子500mタイムトライアル

1	VOINOVA Anastasiia	RUS	33.645
2	WELTE Miriam	GER	33.736
3	LEE Wai Sze	HKG	33.928
13	前田佳代乃	京都	35.259

### 女子スプリント

1	LIN Junhong	MSP	
2	ZHONG Tianshi	MSP	
3	LEE Wai Sze	HKG	
19	前田佳代乃	京都	(予選 11.366)
23	石井 寛子	JPCA JPCU 東京	(予選 11.689)

### 女子ケイリン

1	LEE Wai Sze	HKG	
2	MUSTAPA Fatehah	YSD	
3	CLAIR Sandie	FRA	
10	前田佳代乃	京都	

### 女子チームタイムトライアル

1	PAWLOWSKA Katarzyna	POL	20p
2	KING Isabella	AUS	21p
3	BERTHON Laurie	FRA	25p
15	塚越さくら	鹿児島 鹿屋体育大学	85p

(FL:9, PR:19, EL:17, IP:18, SH:14, TT:8)

### 女子チームスプリント

1	Max Success Pro Cycling	33.016
2	ロシア	33.269
3	イギリス	33.569
10	日本 (CCT) 前田・石井	35.318

## シクロクロスワールドカップ・フランス Nommay 大会 (2014/1/26 フランス Nommay)

### 男子1000m (23.22km)

1	MEEUSEN Tom	BEL	1:00:45
2	MOUREY Francis	FRA	+0:00
3	WALSLEBEN Philipp	GER	+0:05
55	竹之内 悠	京都 COLBA	-2lap
58	小坂 光	長野 宇都宮ブリック	-2lap

### 男子U23 (20.34km)

1	VAN AERT Wout	BEL	54:20
2	VAN DER POEL Mathieu	NED	+0:12
3	VANTHOURENHOUT Michael	BEL	+0:34
37	沢田 時	滋賀 アリクスン アンカー	+8:17
42	横山 航太	長野 篠ノ井高校	-2lap

### 男子ジュニア (14.58km)

1	AERTS Thijs	BEL	40:41
---	-------------	-----	-------

2	TOUPALIK Adam	CZE	+0:08
3	PEETERS Yannick	BEL	+0:09
46	中井 唯晶	滋賀 瀬田工業高校	+6:47
47	竹内 遼	長野 Pro Ride	+7:23

### 女子 (14.58km)

1	VOS Marianne	NED	44:16
2	WYMAN Helen	GBR	+1:32
3	LECHNER Eva	ITA	+1:46
26	豊岡 英子	大阪 パナニックレディーズ	+6:17

## 4th BIWASE Cup-2014 (2014/3/7-14 Vietnam)

### 個人総合成績

1	Nguyen Thi That	ベトナム	18:05:16
5	金子 広美	イナメアランド	+0:43
10	坂口 聖香	パナニックレディーズ	+1:03
29	合田祐美子	早稲田大学	+3:08

### 第1ステージ (96km)

1	Nguyen Thi That	ベトナム	3:18:53
5	金子 広美	イナメアランド	+0:00
9	坂口 聖香	パナニックレディーズ	+0:00
24	西 加南子	LUMINARIA	+0:00
29	合田祐美子	早稲田大学	+0:00

### 第2ステージ (80km)

1	Truong Thi Bich Nhien	ベトナム	2:27:30
5	坂口 聖香	パナニックレディーズ	+2:14
6	西 加南子	LUMINARIA	+2:14
9	金子 広美	イナメアランド	+2:14
20	合田祐美子	早稲田大学	+2:20

### 第3ステージ (50km)

1	Nguyen Thi That	ベトナム	1:16:13
5	坂口 聖香	パナニックレディーズ	+0:00
17	金子 広美	イナメアランド	+0:00
48	合田祐美子	早稲田大学	+0:00
58	西 加南子	LUMINARIA	落車完走扱

### 第4ステージ (50km)

1	Pham Hong Loan	ベトナム	1:32:00
7	坂口 聖香	パナニックレディーズ	+0:00
14	金子 広美	イナメアランド	+0:00
25	合田祐美子	早稲田大学	+0:00
	西 加南子	LUMINARIA	DNS

### 第5ステージ (96km)

1	Jutatip Maneephan	タイ	2:05:26
6	坂口 聖香	パナニックレディーズ	+0:00
7	金子 広美	イナメアランド	+0:00
32	合田祐美子	早稲田大学	+1:49

### 第6ステージ (86km)

1	Tran Thi Phuong Trang	ベトナム	2:05:26
4	金子 広美	イナメアランド	+0:00
11	坂口 聖香	パナニックレディーズ	+0:18
29	合田祐美子	早稲田大学	+0:18

### 第7ステージ (105km)

1	Nguyen Thi That	ベトナム	2:51:37
5	金子 広美	イナメアランド	+0:01
9	坂口 聖香	パナニックレディーズ	+0:01
22	合田祐美子	早稲田大学	+0:01

### 第8ステージ (98km)

1	Jutatip Maneephan	タイ	2:20:57
6	坂口 聖香	パナニックレディーズ	+0:00
30	金子 広美	イナメアランド	+0:00
32	合田祐美子	早稲田大学	+0:00

ツール・ド・台湾2014  
(2014/3/9-13 チャイニースタイル)

個人総合成績

1	DI GREGORIO Rémy LPM	15:23:53
2	TAMOURIDIS Ioannis SPT	15:23:57
3	ZANOTTI Marco PVC	15:24:01
9	内間 康平 沖縄 BSアンカー	15:24:09
37	宮澤 崇史 JPCA Vini Fantini	15:34:05
57	中島 康晴 福井 愛三工業	15:35:03
82	中根 英登 愛知 愛三工業	15:42:54
87	黒枝 士揮 大分 Vini Fantini	15:48:02

BEST ASIAN RIDERS

1	内間 康平 沖縄 BSアンカー	15:24:09
2	ALIZADEH Hossein TSR	15:29:05
3	KHORSHID Khalil TSR	15:29:14
11	宮澤 崇史 JPCA Vini Fantini	15:34:05
18	中島 康晴 福井 愛三工業	15:35:03
31	中根 英登 愛知 愛三工業	15:42:54
33	黒枝 士揮 大分 Vini Fantini	15:48:02

チーム総合成績

1	PARKHOTEL VALKENBURG	46:17:27
2	CANNONDALE	46:18:02
3	LA POMME MARSEILLE	46:18:04

8 日本ナショナルチーム 46:30:24

第1ステージ (52km)

1	KEOUGH Luke UHC	1:06:24
2	WIPPERT Wouter DPC	1:06:24
3	BOUGLAS Georgios SPT	1:06:24
6	黒枝 士揮 大分 Vini Fantini	1:06:24
16	内間 康平 沖縄 BSアンカー	1:06:24
21	宮澤 崇史 JPCA Vini Fantini	1:06:24
48	中島 康晴 福井 愛三工業	1:06:24
96	中根 英登 愛知 愛三工業	1:07:20

第2ステージ (152km)

1	GIRAUD Benjamin LPM	3:18:29
2	DIETEREN Jan STG	3:18:29
3	ZANOTTI Marco PVC	3:18:29
16	内間 康平 沖縄 BSアンカー	3:18:29
46	中島 康晴 福井 愛三工業	3:23:25
54	宮澤 崇史 JPCA Vini Fantini	3:23:25
55	黒枝 士揮 大分 Vini Fantini	3:23:25
95	中根 英登 愛知 愛三工業	3:32:32

第3ステージ (143km)

1	WIPPERT Wouter DPC	3:15:14
2	SCHWEIZER Christoph BCP	3:15:14
3	MURPHY John UHC	3:15:16

8	宮澤 崇史 JPCA Vini Fantini	3:15:16
14	内間 康平 沖縄 BSアンカー	3:15:20
76	中根 英登 愛知 愛三工業	3:16:22
80	中島 康晴 福井 愛三工業	3:16:25
95	黒枝 士揮 大分 Vini Fantini	3:18:09

第4ステージ (161km)

1	TAMOURIDIS Ioannis SPT	3:48:27
2	BULGAC Brian PVC	3:48:29
3	ZANOTTI Marco PVC	3:48:29
11	内間 康平 沖縄 BSアンカー	3:48:29
24	中根 英登 愛知 愛三工業	3:50:43
52	中島 康晴 福井 愛三工業	3:53:22
67	宮澤 崇史 JPCA Vini Fantini	3:53:33
89	黒枝 士揮 大分 Vini Fantini	4:04:07

第5ステージ (168km)

1	SCHNAIDT Fabian VBG	3:55:27
2	GIRAUD Benjamin LPM	3:55:27
3	WIPPERT Wouter DPC	3:55:27
4	宮澤 崇史 JPCA Vini Fantini	3:55:27
29	内間 康平 沖縄 BSアンカー	3:55:27
44	中島 康晴 福井 愛三工業	3:55:27
79	黒枝 士揮 大分 Vini Fantini	3:55:57
80	中根 英登 愛知 愛三工業	3:55:57

第37回全国高等学校選抜自転車競技大会  
(2014/3/20-23 福岡/熊本)

男子総合成績

1	日出陽谷・総合高校	35p
---	-----------	-----

※詳細は次号で掲載いたします。

「自転車文化センター」移転・リニューアルオープンのお知らせ

2014年4月2日(水) 14:00 ~ 〒141-0021 東京都品川区上大崎3-3-1 自転車総合ビル

連盟の動き (12月下旬~3月下旬)

12月24日	平成25年度第5回理事会	於：東京・自転車総合ビル601
1月8日	香港インターナショナルトラックカップ選手団出発	於：ホンコン・チャイナ 帰国→1/13
13日	2013-14トラックW杯第3戦日本代表選手団出発	於：メキシコ・グアダハラ 帰国→1/21
17日	平成25年度第4回総務委員会	於：東京・自転車総合ビル602
22日	平成25年度第8回常務理事会・選手強化本部会	於：東京・自転車総合ビル601
23日	シクロクロス世界選日本代表選手団出発	於：オランダ・フーゲンハイド 帰国→2/4
24・25日	平成25年度第5回競技運営委員会	於：静岡・日本CSCサイテル
26日	平成25年度第6回強化委員会	於：静岡・伊豆ペロドローム
29日	平成25年度第2回広報委員会	於：東京・自転車総合ビル602
2月4日	平成25年度第7回強化委員会	於：静岡・自転車総合ビル602
6日	平成25年度第5回総務委員会	於：東京・自転車総合ビル602
12日	平成25年度第6回ロード競技部会	於：東京・自転車総合ビル602
21日	平成25年度第6回総務委員会	於：東京・自転車総合ビル602
3月3日	平成25年度第9回常務理事会	於：東京・自転車総合ビル601
4日	ロード23 フランス遠征選手団出発	於：フランス 帰国→3/25
5日	BIWASE CUP 2014 日本代表選手団出発	於：ベトナム 帰国→3/15
7日	ツール・ド・台湾日本代表選手団出発	於：チャイニーズ・タイペイ 帰国→3/14
13日	平成25年度第7回理事会	於：東京・自転車総合ビル601
25日	平成25年度第3回評議員会	於：東京・自転車総合ビル601

事務局変更のお知らせ

●北海道自転車競技連盟

〒003-0833  
北海道札幌市白石区北郷3条13丁目5-4  
スカイプランナー内  
TEL: 011-874-4005 FAX: 011-874-4006  
E-mail: hcf-1@hokkaido-cf.jp

●愛知県自転車競技連盟

〒475-0006  
愛知県半田市南大矢知町4-201-17 鈴木恒久様方  
TEL: 0569-29-0487 FAX: 0569-29-0487  
E-mail: office@aichi-cf.jp

●三重県自転車競技連盟

〒512-0934  
三重県四日市市川島町6200-263 山崎達生様方  
TEL: 059-324-9357 FAX: 059-324-9357  
E-mail: mie\_cf@yahoo.co.jp

●一般社団法人 全日本実業団自転車競技連盟

〒141-0021  
東京都品川区上大崎3-3-1 自転車総合ビル5階  
TEL: 03-5475-8781 FAX: 03-5475-8740  
E-mail: info@jbcf.or.jp



第82回  
全日本自転車競技選手権大会ロードレース  
(2013/6/22-23 大分/大分、豊後大野)

## 2013年 全日本選手権トピックス



第82回  
全日本自転車競技選手権大会トラックレース  
(2013/7/27-28 静岡/伊豆ベロドローム)



第30回全日本BMX選手権大会  
(2013/7/6-7 静岡/日本CSC)



2013日本パラサイクリング選手権・トラック大会  
(2013/7/27-28 静岡/伊豆ベロドローム)



全日本シクロクロス選手権大会  
(2013/12/8 滋賀/マキノ高原)

第25回全日本マウンテンバイク選手権大会  
(2013/7/19-21 静岡/日本CSC)



全日本室内自転車競技選手権大会  
(2013/12/14-15 大阪/ボディメーカーコロシウム)

# 2013年 全日本選手権トピックス



第2回全日本選手権トライアル in 新城  
(2013/4/13-14 愛知/新城)

## [今年の全日本選手権スケジュール]

- 4/19-20 トラックレース  
(福島・泉崎)
- 5/3-4 トライアル  
(佐久・ミレニアムパーク)
- 6/27-29 ロードレース  
(岩手・八幡平)
- 7/ 5-6 BMX  
(茨城・国営ひたち海浜公園)
- 7/19-20 マウンテンバイク  
(静岡・日本 CSC)
- 11/22-23 オムニアム/マスターズ  
(静岡・伊豆ベロドローム)
- 12/20-21 サイクルサッカー/サイクルフィギュア  
(大阪・ボディメーカーコロシウム)
- 12/14 シクロクロス  
(宮城・村田)

### < JCF オフィシャル・スポンサー >



### < オフィシャル・サプライヤー >



シクリスムエコー No.205 2014年2・3月号

発行/公益財団法人 日本自転車競技連盟

発行人/橋本 聖子

編集人/安田 光義

編集事務局/公益財団法人 日本自転車競技連盟 事務局

〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-1 自転車総合ビル 5F

TEL 03-6277-2690 FAX 03-6277-2691 <http://www.jcf.or.jp/>

